

CIDISK™ PRO

ユーザーマニュアル

V6.x



CIDISK KOREA, INC.

目次

製品概要.....	4
概要.....	4
使用環境.....	5
インストールとアンインストール	6
CIDISK™ PRO のインストール.....	6
CIDISK™ PRO のアンインストール	9
STEALTH 領域生成	11
STEALTH 専用空間生成.....	11
STEALTH 領域生成	15
STEALTH 領域削除	20
STEALTH 領域削除	20
STEALTH 専用空間削除.....	22
STEALTH エクスプローラー使用	25
STEALTH エクスプローラー画面構成	25
リボンメニュー領域.....	25
キャプション表示バー	25
パソコン領域.....	26
STEALTH 領域	27
状態表示バー	28
STEALTH 連結ダイアログで連結.....	30
デジタルキーで連結	32
STEALTH 連結解除	34
デジタルキー保存.....	35
リストに表示.....	37
フォルダー操作.....	39
上位フォルダー	39
新規フォルダー	39
更新.....	40
削除.....	40

クリップボード機能.....	41
貼り付け	41
取り切り	42
コピー.....	42
全体選択.....	43
STEALTH 機能.....	44
自動ロック設定	44
パスワード変更	45
STEALTH 情報	46
STEALTH フォーマット	47
ブックマーク管理.....	48
STEALTH エクスプローラー活用.....	50
Drag & Drop	50
外部から STEALTH エクスプローラーに Drag & Drop.....	50
STEALTH エクスプローラーから外部に Drag & Drop.....	51
STEALTH 領域間の Drag & Drop.....	52
名前を付けて保存.....	54
STEALTH File Server 連結	56
STEALTH サーバ連結管理	56
連結する.....	57
連結解除.....	58
アカウント変更	59
操作ログ.....	60
検索.....	61
EXCEL でエクスポートする.....	63
お問い合わせ	65

製品概要

概要

CIDISK™ PROはCIDISK KOREA, INC.の特許技術が適用された個人及び企業向けセキュリティーディスク製品です。

本文書では個人ユーザー向けのCIDISK™ PROと中小企業規模の組織で安全なファイル共有サーバを構築するためのSTEALTH File Serverに対して説明します。バージョン6.x以上のCIDISK™ PROはSTEALTH File Serverに対する連結機能を追加的に提供します。

参考事項:バージョン6.x.x.x以下のCIDISK™ PRO製品を使用している場合は新規のバージョンである6.x.x.xにアップデートしてください。

CIDISK™ PROは新概念情報セキュリティー製品として多様な情報侵害事故の危険からユーザーの重要なデータを安全に守らせていただきます。

- 全てのランサムウェア、ウイルスや悪性コードのアクセスを100%遮断
- 従来のアンチウイルス等のようなアップデートが不要
- ディスクの紛失したり、盗まれても安心
- STEALTH領域に保存されたデータは第3者によって絶対閲覧されない
- 便利性及びセキュリティー性を兼備したSTEALTHエクスプローラー提供
- 複数のSTEALTH領域を同時に連結して作業が可能

CIDISK™ PROをSTEALTH File Serverと一緒に使用する場合は以下のような追加的な特徴を提供します。

- サーバに存在しているSTEALTH領域を同時に連結して作業可能
- 全ての悪性コードからサーバに存在している文書を100%安全に守ることが可能(サーバの管理者権限が流出された場合も基本的に安全)
- 管理者の場合CIDISK™ PROのみを利用してサーバのSTEALTH領域、ユーザーアカウント、共有、アクセス制御政策及びログを管理することが可能
- 一般ローカルディスク領域、ローカルのSTEALTH領域とサーバのSTEALTH領域の間のデータ操作が簡単に完璧に互換

使用環境

CIDISK™ PROの使用環境は次のようです。

- OS: Microsoft Windows 7以上(32ビット、64ビット)
- メモリ: 最小1GB(2GB以上推薦)
- ディスク容量: 最小100MB以上の空き領域(STEALTH領域用は別に準備)

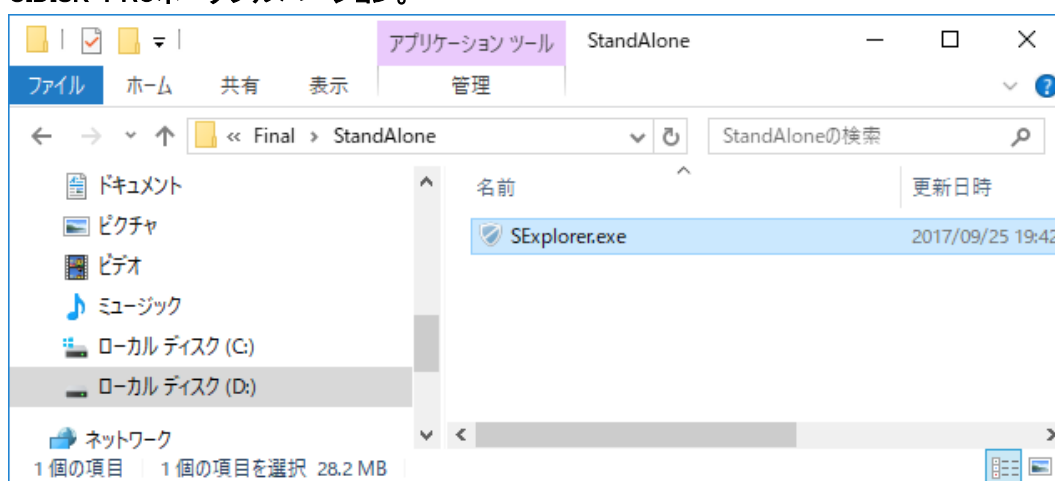
インストールとアンインストール

CIDISK™ PROのインストール

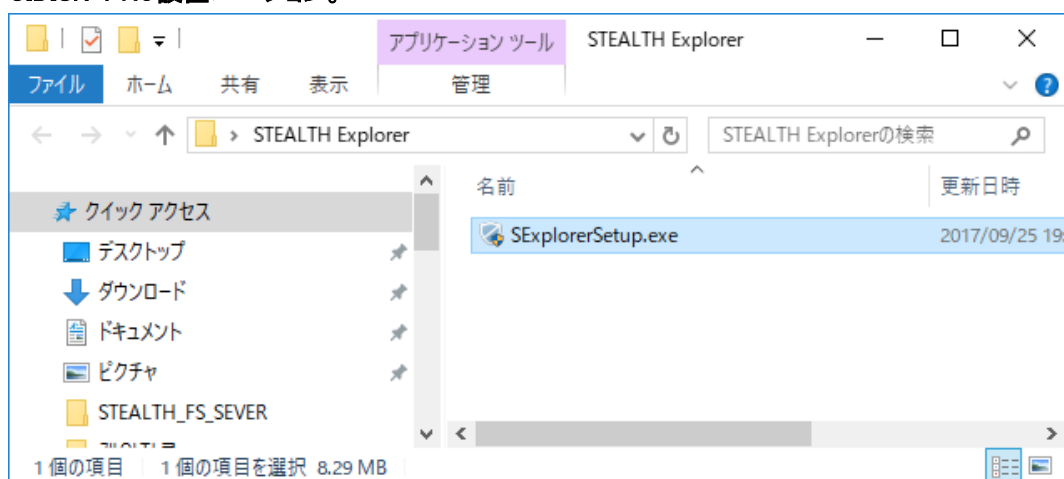
CIDISK™ PROのインストールはインストールメディアとして提供されるファイルの中で「SExplorerSetup.exe」プログラムを利用します。

※CIDISK™PROポータブルバージョンSExplorer.exeは、別途のインストール作業が必要なく、すぐ実行することが可能です。

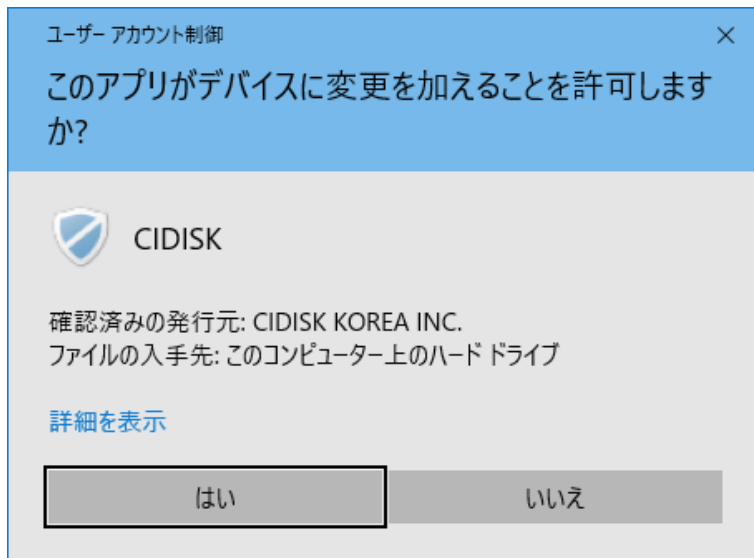
CIDISK™PROポータブルバージョン。



CIDISK™PRO設置バージョン。



「SExplorerSetup.exe」プログラムをマウスでダブルクリックして実行します。次のように「ユーザーアカウント制御」に関連したダイアログが現れる場合、「はい」ボタンをクリックして管理者権限でプログラムが実行されるように許可します。



次のように「Stealth Explorerセットアップ」のダイアログが表示されます。



「インストール」ボタンをクリックしてCIDISK™ PROのインストールを開始します。CIDISK™ PROの全ての構成ファイルのコピーや設定を完了したら、次のように完了を知らせるダイアログが表示されます。

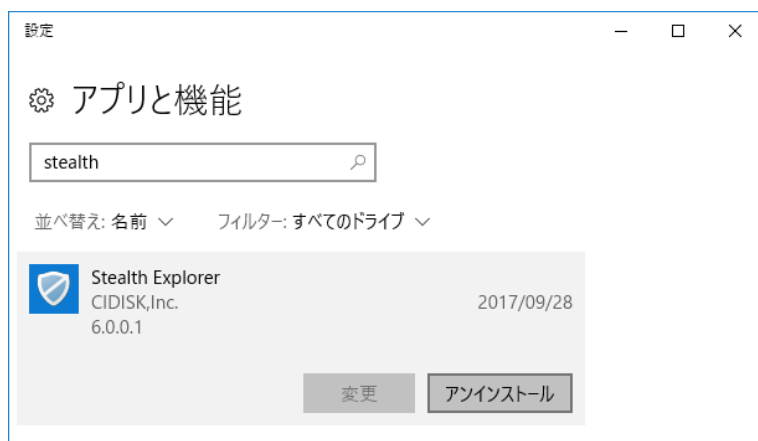


「完了(F)」ボタンをクリックしてCIDISK™ PROのインストール作業を完了します。

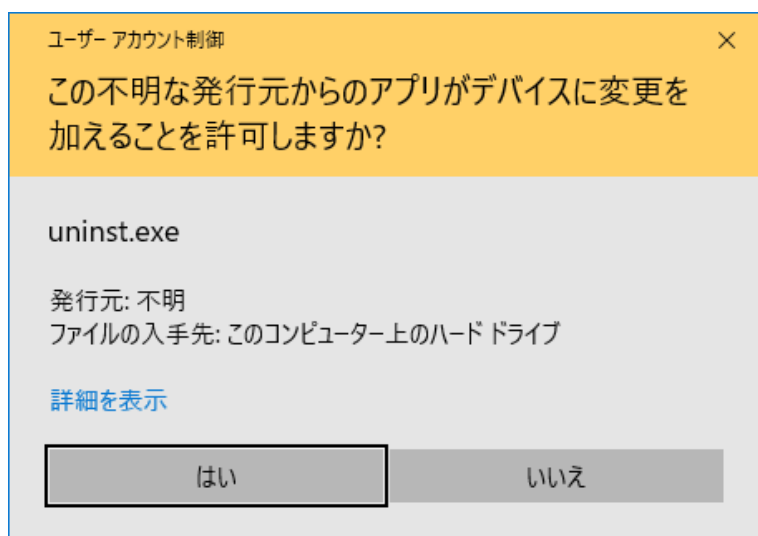
CIDISK™ PROのアンインストール

CIDISK™ PROのアンインストールは各OS毎に提供するプログラムのアンインストール機能を利用します。本文書のよ
うなMicrosoft Windows 10の場合は「設定>アプリ>アプリと機能」を利用してアンインストールします。

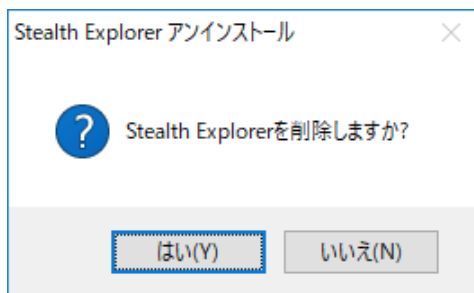
(注意事項: OS別によってアンインストールを向けて提供されるプログラムの差があります)



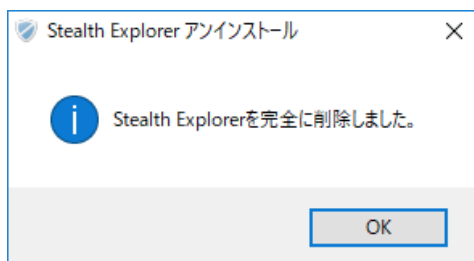
次のように「ユーザーアカウント制御」に関連したダイアログが現れる場合「はい」ボタンをクリックして管理者権限でプ
ログラムが実行されるように許可します。



次のようにプログラムをアンインストールするかどうかをもう一度確認するダイアログが表示されます。「はい」ボタンを
クリックしてアンインストール作業を進行します。



全ての構成ファイルのアンインストールを完了したら次のようにアンインストールが完了したことを知らせるダイアログが表示されます。



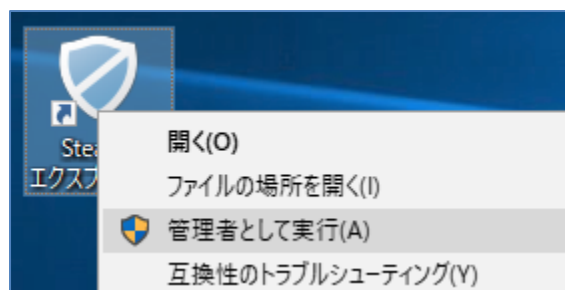
「OK」ボタンをクリックしてCIDISK™ PROのアンインストール作業を完了します。

STEALTH領域生成

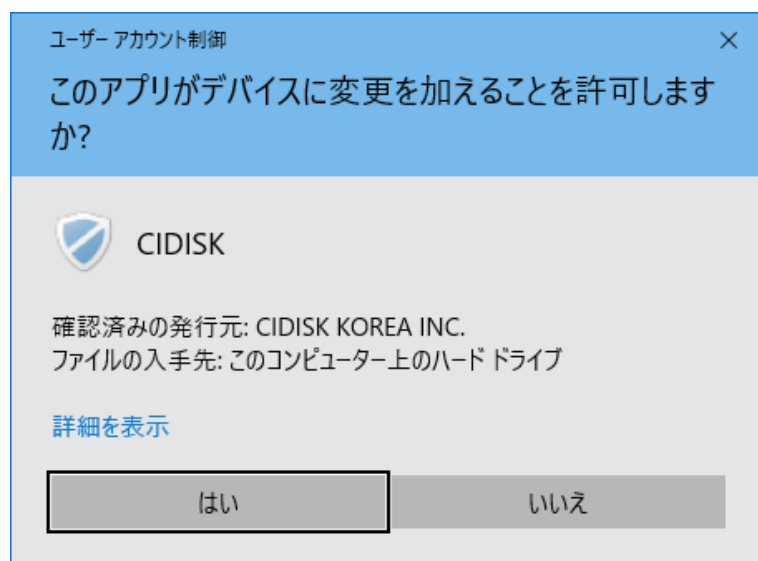
CIDISK™ PROを利用して重要なデータを保存して管理できるSTEALTH領域を直接生成することができます。

STEALTH専用空間生成

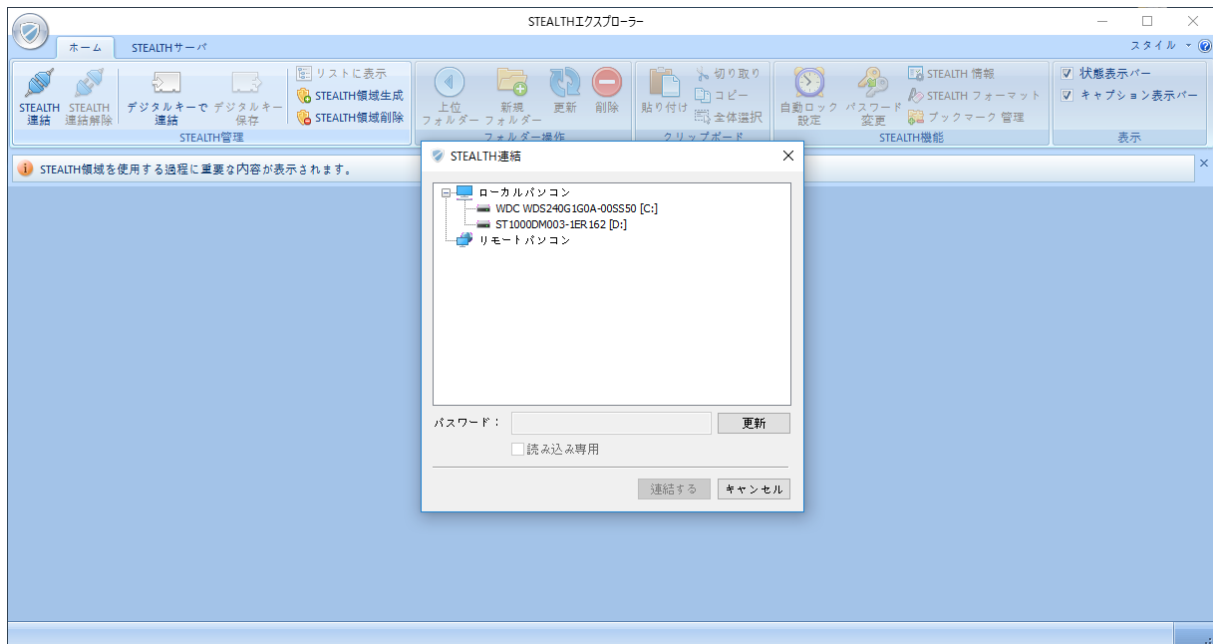
CIDISK™ PROを利用して直接STEALTH領域に向けた専用空間を構成するためには「STEALTHエクスプローラー」を次のように管理者権限で実行する必要があります。



次のように「ユーザーアカウント制御」に関連したダイアログが現れる場合は「はい」ボタンをクリックして管理者権限でプログラムが実行されるように許可します。



次のように「STEALTHエクスプローラー」が実行されてプログラムの画面が表示されます。



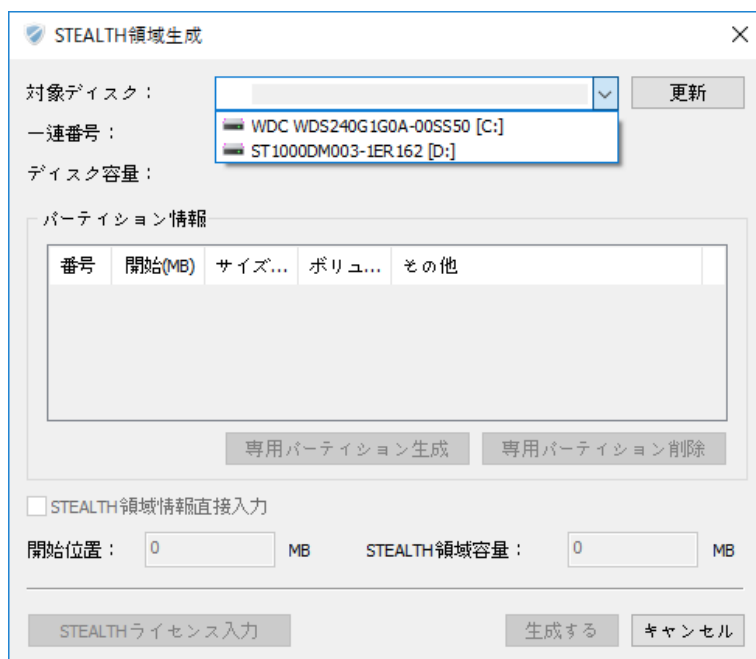
現在は連結できる対象STEALTH領域が一つも存在していないことが確認できます。「キャンセル」ボタンをクリックして「STEALTH連結」ダイアログを先に終了します。



上のように「STEALTHエクスプローラー」のリボンメニューの項目の中で「STEALTH領域生成」ボタンをクリックします。

注意事項: STEALTH領域を生成するために必要な空き容量があるかを確認してください。「STEALTHエクスプローラー」を利用してディスクを構成する段階では「NTFS」で構成されているボリュームのみを対象にして、該当ボリュームのサイズを縮小してSTEALTH領域に向けた専用空間を構成することになります。ディスク上に空き容量が不足しているまたは縮小するボリュームが「NTFS」で構成されていない場合は当社にお問い合わせください。

次のように「STEALTH領域生成」のダイアログが表示されます。先に「対象ディスク」項目を選択してSTEALTH領域を生成するために構成する対象ディスクを選択します。



STEALTH領域生成

対象ディスク： ▼ 更新

一連番号： WDC WDS240G1G0A-00SS50 [C:]
ST1000DM003-1ER162 [D:]

ディスク容量：

パーティション情報

番号	開始(MB)	サイズ...	ボリューム...	その他
----	--------	--------	----------	-----

専用パーティション生成 専用パーティション削除

☐ STEALTH領域情報直接入力

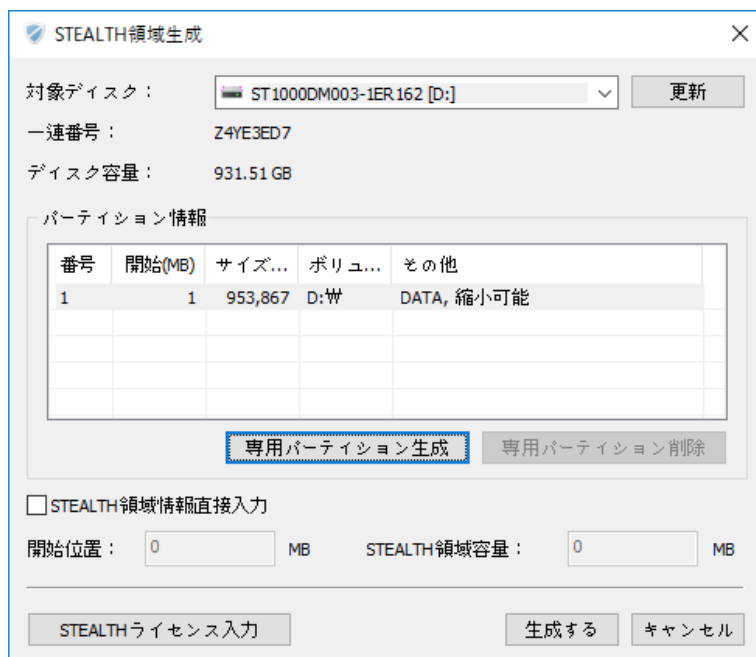
開始位置： MB STEALTH領域容量： MB

STEALTHライセンス入力 生成する キャンセル

各対象ディスク名の最も右側には該当ディスクに構成されているボリューム文字が参考情報として一緒に表示されます。この情報を利用して正確な対象ディスクを指定できます。

対象ディスク項目を選択したら次のように該当ディスクの中に構成されているパーティション情報とディスクの一連番号、サイズ等の詳細な情報が一緒に表示されます。

対象ディスクに構成された各パーティションに対する番号、開始位置及びサイズ等の基本的な情報とともに現在そのパーティションが持っているボリューム文字も表示され、そのボリュームが「NTFS」形式で構成されている場合は次のように「縮小可能」という内容が表示されます。



STEALTH領域生成

対象ディスク： ST1000DM003-1ER162 [D:] 更新

一連番号： Z4YE3ED7

ディスク容量： 931.51 GB

パーティション情報

番号	開始(MB)	サイズ...	ボリューム...	その他
1	1	953,867	D:₩	DATA, 縮小可能

専用パーティション生成 専用パーティション削除

☐ STEALTH領域情報直接入力

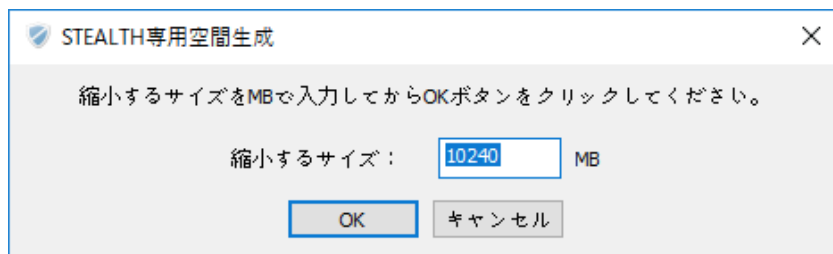
開始位置： MB STEALTH領域容量： MB

STEALTHライセンス入力 生成する キャンセル

上のように縮小できるパーティション項目を先に選択した後、「STEALTH専用空間生成」ボタンをクリックします。

先立って選択したパーティションでどの程度そのサイズを縮小できるかを計算する過程が進行されます。その結果が画面に出る時まで少々お待ちください。

注意事項: 選択したパーティションのフラグメンテーション状態によって縮小可能なサイズを計算する時間が長くなる可能性があります。その時間が長くなる場合は対象パーティションに構成されているボリュームに対して先に「デフラグ」作業をしてから再びトライしてください。



STEALTH専用空間生成

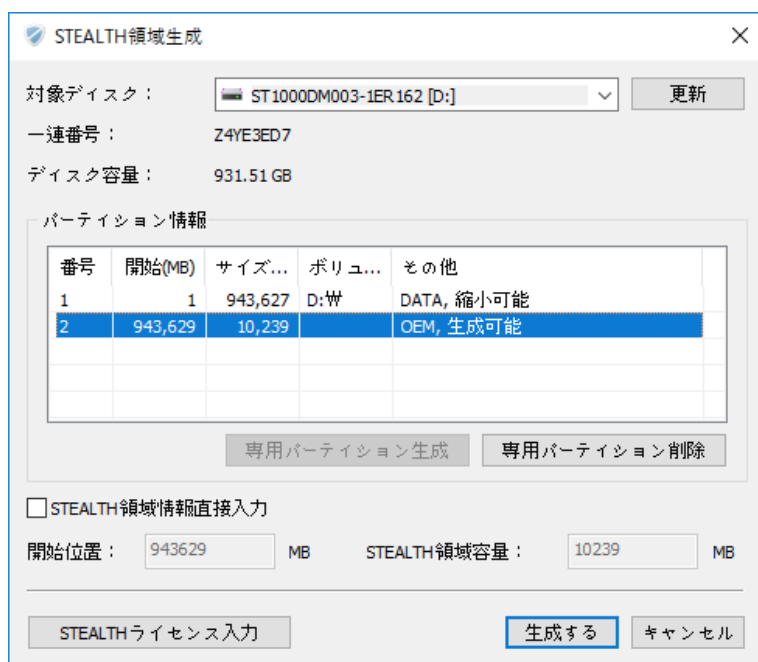
縮小するサイズをMBで入力してからOKボタンをクリックしてください。

縮小するサイズ: MB

縮小できるサイズの計算を完了したら上のようにダイアログが表示されます。実際STEALTH領域を向けた縮小するサイズをMB単位で入力した後「OK」ボタンをクリックします。

参考事項: 1MBは1,024KB、1KBは1,024バイト、1,024MBは1GBです。

先立って選択したパーティションの縮小が正常的に完了したら次のように新規のOEM又はLDMパーティション情報が自動的に生成されて「生成可能」という説明が表示されます。様々な理由によって縮小作業が失敗した場合はそのエラー内容が表示されます。該当エラー内容を当社の顧客支援部に送付してその問題の解決に手伝いを要請することができます。



STEALTH領域生成

対象ディスク:

一連番号: Z4YE3ED7

ディスク容量: 931.51 GB

パーティション情報

番号	開始(MB)	サイズ...	ボリュ...	その他
1	1	943,627	D:¥¥	DATA, 縮小可能
2	943,629	10,239		OEM, 生成可能

☐ STEALTH領域情報直接入力

開始位置: MB STEALTH領域容量: MB

STEALTH領域生成

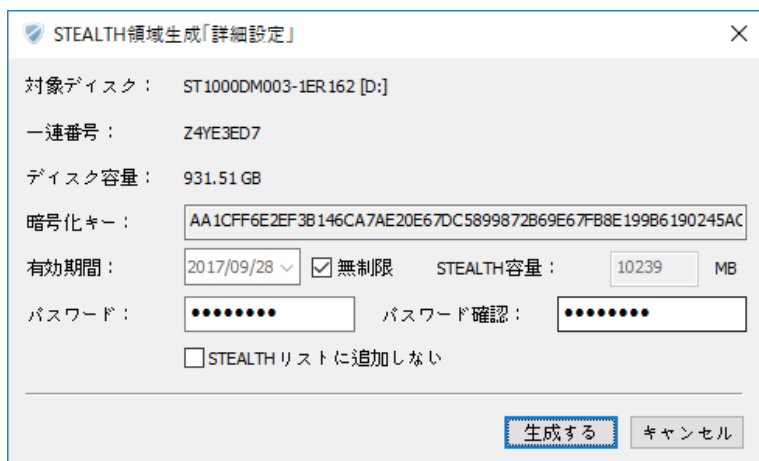
前段階の説明を通じて専用空間を生成した場合、又はディスクが専用空間を使用できるように構成されていた場合はSTEALTH領域を次の過程を通じて生成できます。

前段階の説明のように「STEALTH領域生成」ダイアログを表示されるようにした後STEALTH領域を生成する対象専用空間を選択して「生成する」ボタンをクリックします。

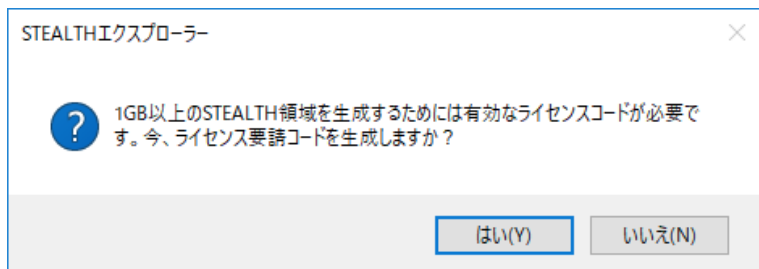
注意事項: STEALTH領域の生成に向けた専用空間を選択したら「開始位置」と「STEALTH領域サイズ」項目が自動的に計算されてアップデートされます。「STEALTH領域情報直接入力」をチェックしてからその値を直接入力することもできますがその値の間違いによって対象ディスクに構成されている全てのパーティション情報が削除されてしまう可能性もありますのでディスクに対する専門的な知識がなければこの方法は使用しないことを推奨します。

次のようにSTEALTH領域のための詳細設定ダイアログが表示されます。生成するSTEALTH領域に対する「有効期限」、「パスワード」及び「STEALTHリストに追加しない」等の詳細内容を設定してから「生成する」ボタンをクリックします。

注意事項: パスワードは最小8文字、最大64文字以下に指定し、英大文字1個、英小文字1個、数文字1個及び特殊文字1個が必ず含まれるようにしなければなりません。「STEALTHリストに追加しない」を選択したら生成作業が完了された後「STEALTH連結」ダイアログにその領域の存在が表示されないようになります。



「生成する」ボタンをクリックしたら生成するSTEALTH領域のサイズを確認してからそれが1GB以上になる場合は以下のようなダイアログが表示されます。

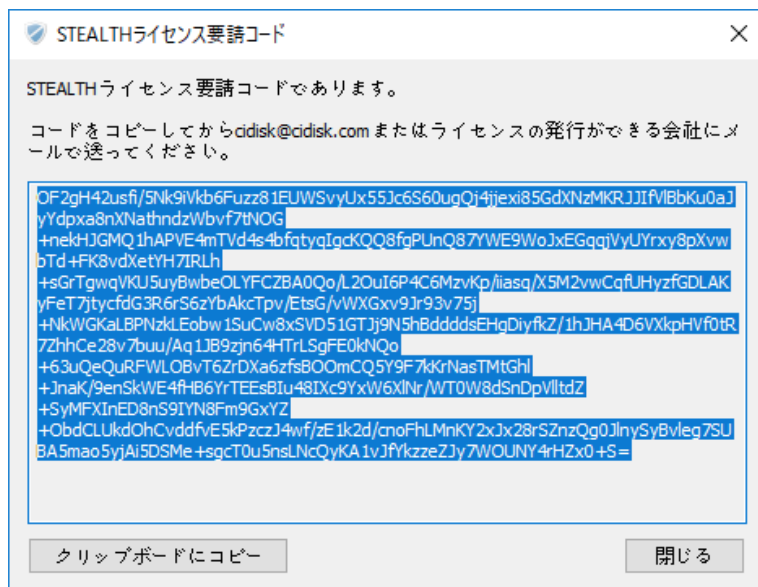


参考事項: CIDISK™ PROは1GB以内のSTEALTH領域は別のライセンスが無くても自由に生成して使用できるように支援しています。

「はい(Y)」ボタンをクリックしてライセンス要請コードの生成作業を進行します。

「STEALTHエクスプローラー」はSTEALTH領域生成のためにユーザーが直接設定した詳細設定内容を全て含めてライセンス要請コードを生成します。一部の設定が間違っただけの場合は「いいえ(N)」ボタンをクリックしてから最初段階から再度設定してください。

要請コードの生成作業が完了されたら次のように「STEALTHライセンス要請コード」ダイアログが表示されます。



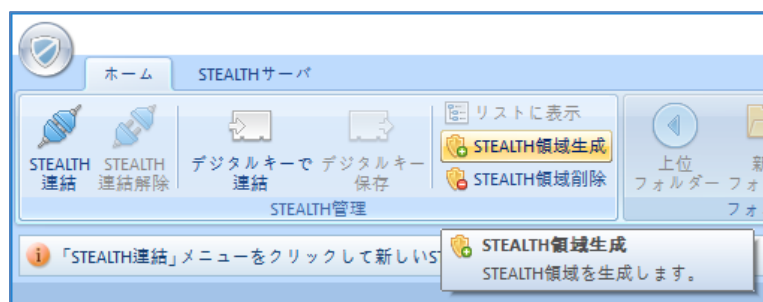
ライセンス要請コードは全部文字列で生成されますので「クリップボードにコピー」機能を利用して自由に他のプログラムに貼り付けることができます。次のようにメール等の方法でライセンス要請コードを当社又は関連した販売会社の担当者に送付して正式ライセンスの発給を要請することができます。



注意事項: ライセンスコードの発給費用は別に当社にお問い合わせください。

当社又は関連する販売会社から正式ライセンスコードを受けた場合はそのコードでSTEALTH領域を生成することができます。

次のように「STEALTHエクスプローラー」のリボンメニューから「STEALTH領域生成」ボタンをクリックしてライセンス要請コードを生成した時に選択した対象ディスクを再度選択します。(注意事項:ライセンス要請コードを生成した時に選択したディスクではない場合はSTEALTH領域の生成作業が失敗します。)



次のように左下の「ライセンス入力」ボタンをクリックします。

対象ディスク: ST1000DM003-1ER.162 [D:] 更新

一連番号: Z4YE3ED7

ディスク容量: 931.51 GB

パーティション情報

番号	開始(MB)	サイズ...	ポリュ...	その他
1	1	943,627	D:W	DATA, 縮小可能
2	943,629	10,239		OEM, 生成可能

専用パーティション生成 専用パーティション削除

☐ STEALTH領域情報直接入力

開始位置: 943629 MB STEALTH領域容量: 10239 MB

STEALTHライセンス入力 生成する キャンセル

次のように発給されたライセンスコードを入力するダイアログが表示されます。

STEALTHライセンスコード

STEALTH領域を生成するためにライセンスコードを入力してください。

```
X6TUz/k7NinJehckKmMoGe7Tuf725ynT0+hzZ9ycPwUn5Ej3EU044tUjRIUmBADvte5tXhNy
CD+ej9k6zRSPEZX7R
+wUh3fkkGdKUDxN5VkeY7TeqwxY9AA80LGhmpyqlhPLV7WetdFNszQBE1OhmmUH10FZyh
oPKpODsWGyYpflDxG20Fjbs7MRQ45Uliul1L7sttf4t0xZEy1Ts0TgFizf7DgLDWliu7suOSY2s
T4JyI5IC4PthXX8URCmHkiMOgR3uMhPfj3w5pXHoIEWQ31Cu
+ET6FaBDte8j57uZjZ4Xq39n/9JSDV2SLa/7gKFqs6zkXdhWrb23S5GnXNsg/QvZIDqpZmjs5
3t3T8m14FV0wf9D2iy6MmUJZxHDWRUxpc01SwJlguR5DcoK7VMmuoVxJvBBDubbUpxuviAd
VRrWQA/Aelx2Zae9kUjODKTzT9UR
+wTgjIQkh3waBMHj4+o5lo9yyqHqz7hYLj1OnXk2M0WFvuJKc3G9hc5LH/XEXBRXwlrB/JaYu
r4OpbBiW7UklALMhaIdtSggwiPtVBuuZeOOTjHWFpKnrG3NYf51ZCrksq75hS4Du9gXxWGe6
6y9lZQHdnG5KJhB2Rvtky6cDs0i5GJZGZfeus5XjZm/hsGMSt8L9XT5tp2cp6Nn/zQoQjl82T9Q
/XrhfJXdgY=
```

生成する キャンセル

当社又は関連する販売会社から発給された正式ライセンスコードを入力して「生成する」ボタンをクリックします。

次のようにライセンス要請コードを生成した時に指定した詳細設定の内容を再度確認するダイアログが表示されます。

STEALTH領域生成「詳細設定」

対象ディスク： ST1000DM003-1ER162 [D:]

一連番号： Z4YE3ED7

ディスク容量： 931.51 GB

暗号化キー： 70915AC4C2FBD0487F8FA616822D9C980A6CF1F1A9985607002544D98

有効期間： 2017/09/28 ☒ 無制限 STEALTH容量： 10239 MB

パスワード： パスワード確認：

☐ STEALTH リスト に追加しない

生成する キャンセル

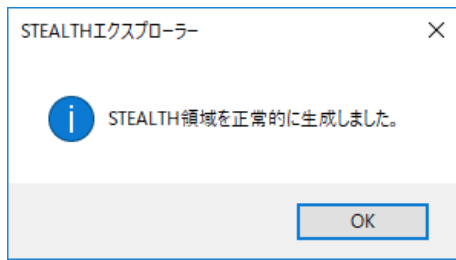
詳細設定内容を確認して問題がない場合「生成する」ボタンをクリックします。次のようにSTEALTH領域の生成することを最後に確認するダイアログが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックします。

STEALTHエクスプローラー

? 今、STEALTH領域を生成しますか？

はい(Y) いいえ(N)

STEALTH領域の生成が正常的に完了されたら以下のようなダイアログが表示されます。



「OK」ボタンをクリックしてSTEALTH領域の生成作業を完了します。

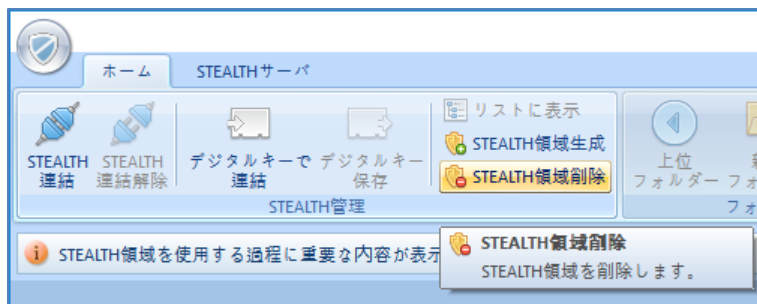
注意事項: STEALTH領域を生成するために使用したライセンス要請コードとそれに対して発給されたライセンスコードは安全な場所にて保存してください。以降にもしパスワードを忘れた場合そのライセンスコードでSTEALTH領域の生成作業を再度完了したら忘れたパスワードを初期のパスワードに初期化することができます。

STEALTH領域削除

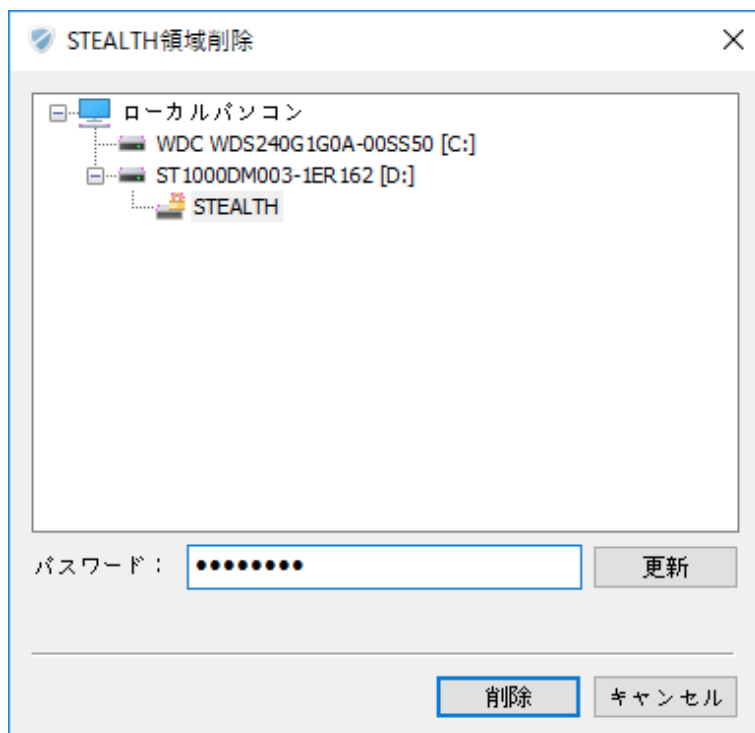
CIDISK™ PROを利用して直接生成して使用したSTEALTH領域を安全に削除することができます。

STEALTH領域削除

まず、削除するSTEALTH領域が「STEALTHエクスプローラー」に連結されている場合はその連結を解除します。次のようにリボンメニューから「STEALTH領域削除」ボタンをクリックします。

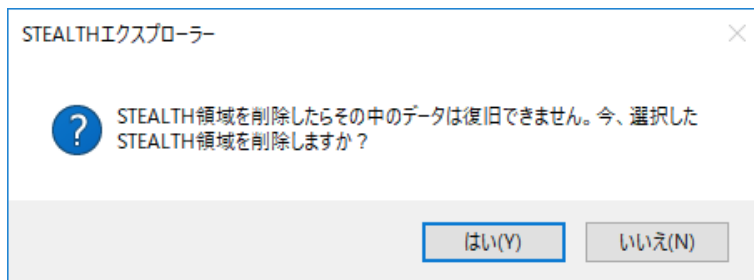


次のように削除できるSTEALTH領域項目を表示する「STEALTH領域削除」ダイアログが表示されます。削除するSTEALTH領域を選択した後パスワードを入力してから「削除」ボタンをクリックします。

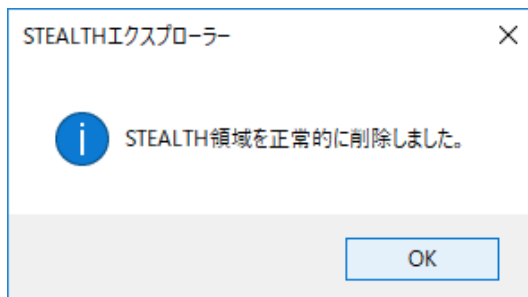


次のようにSTEALTH領域の削除作業を確認するダイアログが表示されます。STEALTH領域を削除したらそのデータは復旧できないので注意してください。しかし、最初STEALTH領域を生成した時に使用したライセンスコードを持っている場合はそれを用いて同一なSTEALTH領域に復旧することができます。STEALTH領域を削除するためには「はい」

(Y) ボタンをクリックします。



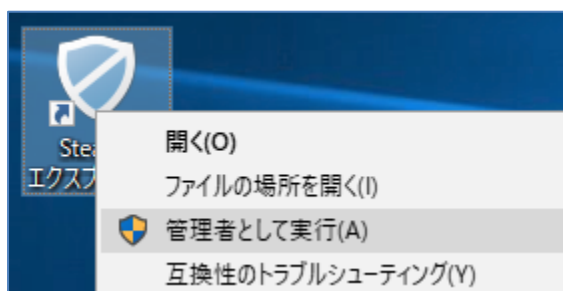
STEALTH領域をの削除作業が正常的に完了されたら次のようにその内容を確認するダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



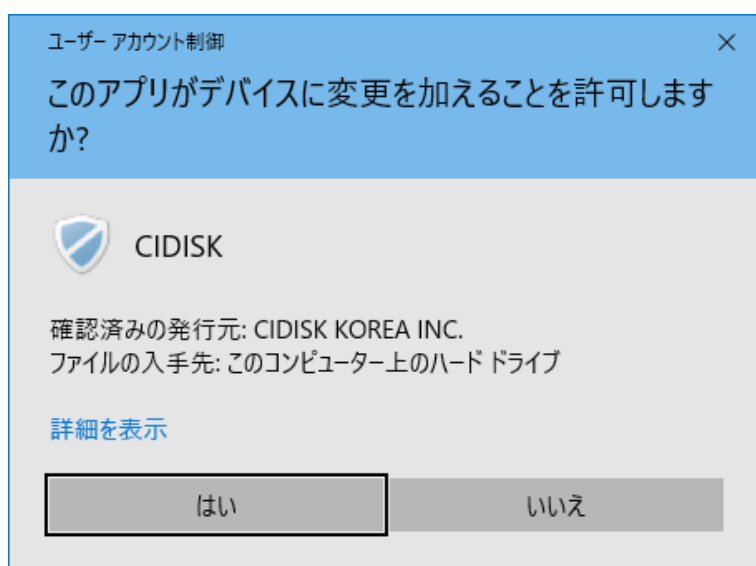
STEALTH専用空間削除

STEALTH領域を生成するために構成したSTEALTH専用空間を削除してからこの空間を一般ボリュームにマージして使用できるようにします。

CIDISK™ PROを利用して直接STEALTH領域のために使用したSTEALTH専用空間を削除するためには必ず「STEALTHエクスプローラー」を次のように管理者権限実行する必要があります。



次のように「ユーザーアカウント制御」に関するダイアログが表示される場合は「はい」ボタンをクリックして管理者権限でプログラムが実行されるように許可します。



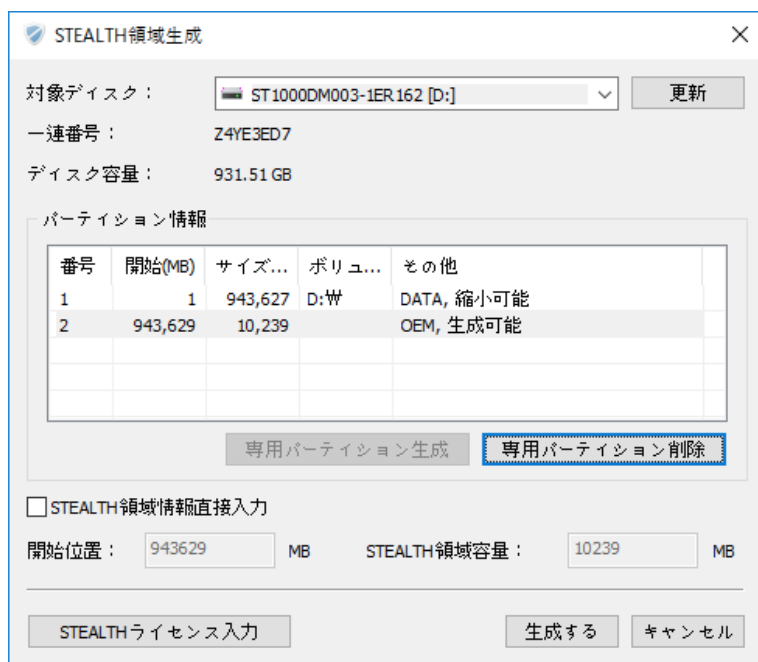
次のように「STEALTHエクスプローラー」が実行されてプログラムの画面が表示されます。

上のように「STEALTHエクスプローラー」のリボンメニューの項目から「STEALTH領域生成」というボタンをクリックします。

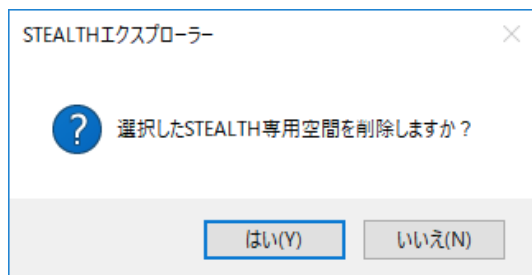


次のように「STEALTH領域生成」のダイアログが表示されます。削除する専用空間がある対象ディスクを選択したら該当ディスク内の全てのパーティション情報が表示されます。STEALTH領域を生成した専用空間は一般的に「生成可能」という情報が表示されます。この専用空間を選択してから「STEALTH専用空間削除」ボタンをクリックします。

注意事項: STEALTH領域を削除した後そのSTEALTH領域が存在した専用空間を必ず削除しなければならないことはありません。しかし、CIDISK™ PROを利用してSTEALTH領域を生成した時に直接専用空間を構成した場合はそれを削除してからその空き容量を一般データボリュームに併合して使用した方がディスク容量をより効率的に使用できるようになります。



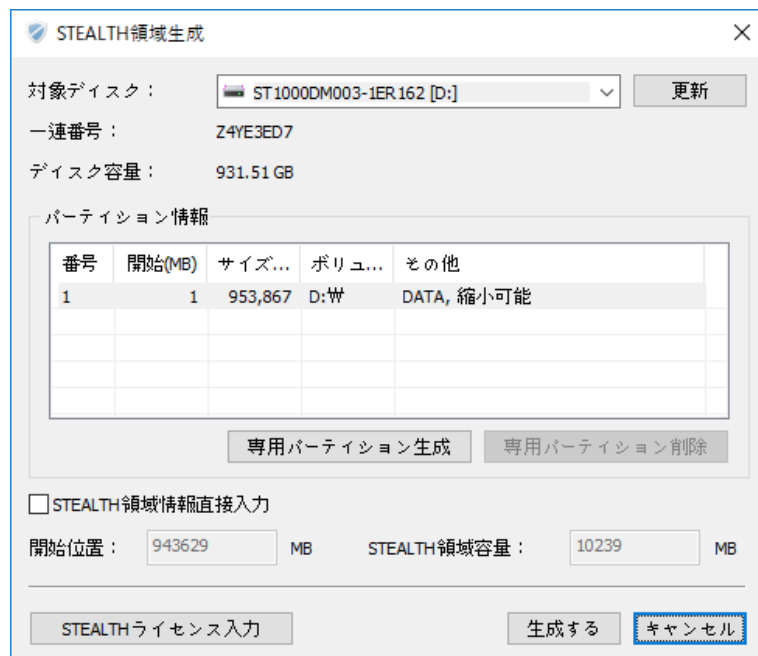
次のようにSTEALTH専用空間を削除作業を確認するダイアログが表示されます。



「はい(Y)」ボタンをクリックしてSTEALTH専用空間の削除作業を進行します。

選択したSTEALTH専用空間の削除作業が進行されます。削除作業の過程でエラーが発生したらそのエラーを表示するダイアログが表示されます。

STEALTH専用空間の削除作業が正常的に完了されたら次のように選択したディスクの領域情報でSTEALTH専用空間がなくなってその空間のサイズ程の容量が直前に位置されている一般ボリュームに追加されたことが確認できます。



STEALTH領域生成

対象ディスク: ST1000DM003-1ER.162 [D:] 更新

一連番号: Z4YE3ED7

ディスク容量: 931.51 GB

パーティション情報

番号	開始(MB)	サイズ...	ボリュ...	その他
1	1	953,867	D:₩	DATA, 縮小可能

専用パーティション生成 専用パーティション削除

☐ STEALTH領域情報直接入力

開始位置: 943629 MB STEALTH領域容量: 10239 MB

STEALTHライセンス入力 生成する キャンセル

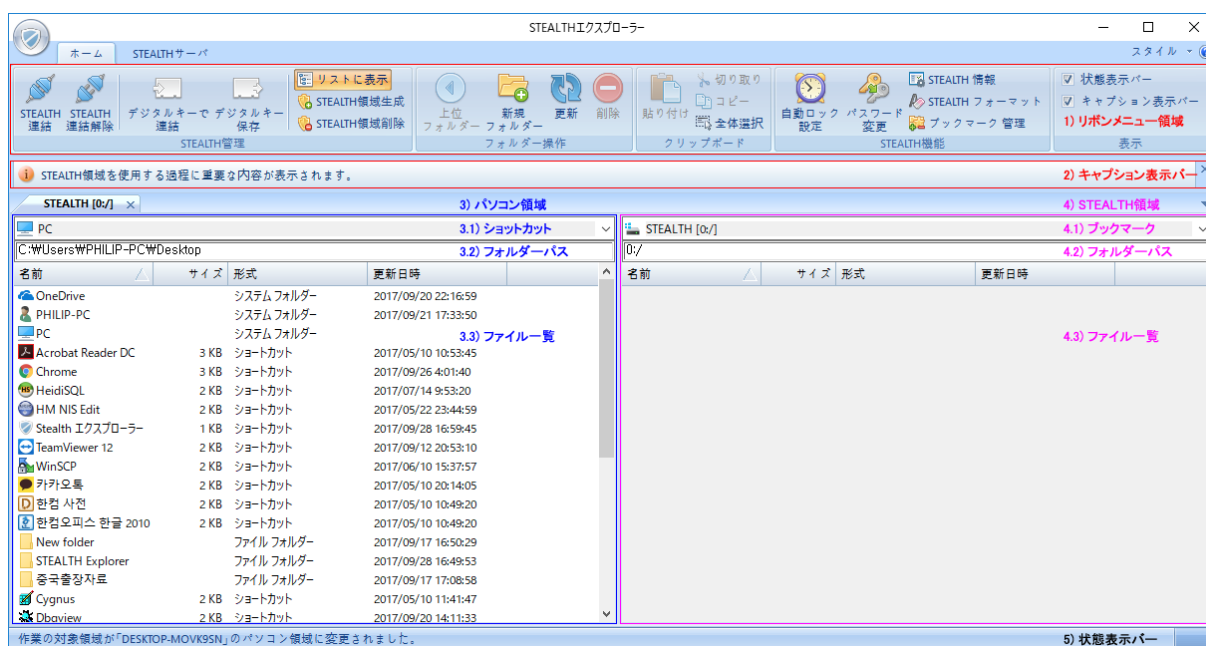
STEALTH専用空間の削除作業が完了されました。「キャンセル」ボタンをクリックしてダイアログを終了します。

STEALTHエクスプローラー使用

STEALTHエクスプローラー画面構成

CIDISK™ PRO製品のマイプログラムである「STEALTHエクスプローラー」はディスク上に構成されているSTEALTH領域内に保存している重要なデータを便利に操作できるように支援します。

次は基本的な「STEALTHエクスプローラー」の画面構成情報です。



リボンメニュー領域

「STEALTHエクスプローラー」のリボンメニュー領域では「STEALTHエクスプローラー」の操作に関連する主要メニューが視覚的に配置された状態で提供されます。各メニュー項目は該当メニューを使用できる状態に限って活性化され、使用できない状態では自動的に非活性化されます。

キャプション表示バー

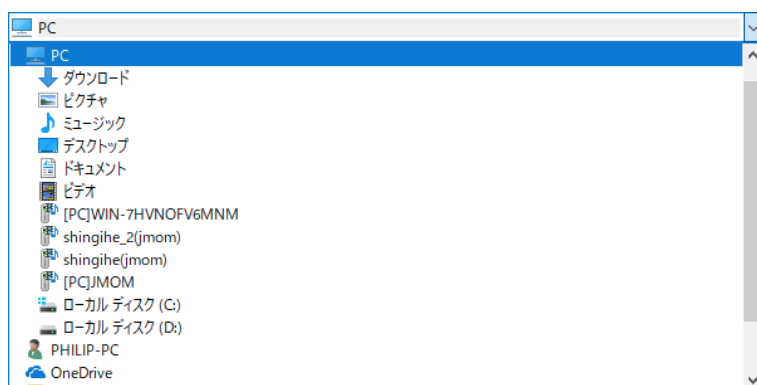
「STEALTHエクスプローラー」を操作する過程でユーザーに表示する主要内容をキャプションテキストの形式で出力する領域です。ここへ出力するテキストの内容を通じて現在「STEALTHエクスプローラー」の状態又は作業内容の結果等を確認することができます。リボンメニュー領域である「キャプション表示バー」チェックボックスを利用して表示したり隠したりすることができます。

パソコン領域

現在「STEALTHエクスプローラー」が実行されているパソコンのフォルダーやファイル項目を表示する領域です。この領域をよく活用したらユーザーは連結したSTEALTH領域とパソコンの間にファイルをコピー又は移動する等の作業を行うために別のウィンドウズエクスプローラーを実行する必要がなくなります。

1) ショットカット

現在パソコン内の主要なショートカット情報を選択することができます。次のように右上側の矢印をクリックして現在パソコンの主要ショートカット情報を確認した後特定な項目を選択したらその位置のフォルダーとファイル情報が「ファイル一覧」で表示されます。



※ 「ショートカット」で表示される項目は「STEALTHエクスプローラー」が実行されているOSのバージョンによって異なる可能性があります。

2) フォルダーパス

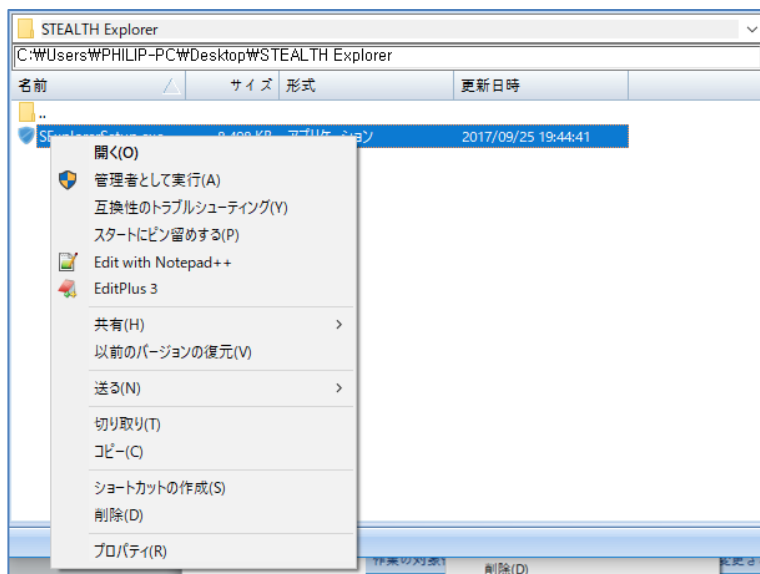
現在「ファイル一覧」の領域に内容が表示されている上位フォルダーのパスを表示します。次のようにユーザーが移動したいフォルダーのパスを直接入力することもできで入力したパスが有効なものである場合は「ファイル一覧」領域の内容がその下位の内容にすぐ更新されます。

`C:\Users\WPHILIP-PC\Desktop\STEALTH Explorer`

※ ウィンドウズエクスプローラーから特定なフォルダーのパスをコピーしてから「フォルダーパス」で貼り付けることとその逆の操作もできます。

3) ファイル一覧

現在選択しているパソコン領域のフォルダーの下位フォルダーとファイル項目を表示します。



選択した項目がフォルダーかファイルかの可否と多数のフォルダーとファイルと一緒に選択した状態かによって表示されるコンテキストメニューが異なります。これに対してはウィンドウズエクスプローラーの使用法と同一なのでウィンドウズエクスプローラーの使用例をご参考ください。しかし、空き領域で右クリックしたら以下のような「STEALTHエクスプローラー」の専用コンテキストメニューが表示されることにご注意ください。

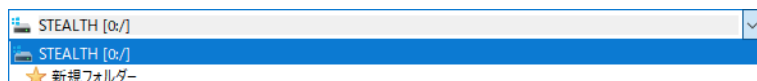


STEALTH領域

現在連結されているSTEALTH領域ないのフォルダーとファイルを表示する領域です。

1) ブックマーク

現在連結されているSTEALTH領域のブックマーク情報を選択することができます。次のように右上側の矢印をクリックしたら現在連結されているSTEALTH領域のブックマーク情報を確認することができて特定な項目を選択したらその位置のフォルダーとファイル情報が「ファイル一覧」で表示されます。



※ 「ブックマーク」に表示されている項目はユーザーが直接登録した「ブックマーク」項目です。

2) フォルダーパス

現在「ファイル一覧」領域で内容が表示されているSTEALTH領域内の上位フォルダーのパスを表示します。次のようにユーザーが移動したいフォルダーのパスを直接入力することもできて入力したパスが有効な場合は「ファイル一覧」領域の内容が入力したSTEALTH領域上のフォルダーパスの下位内容に更新されます。

0:/新規フォルダー

※ STEALTH領域内のフォルダーパスの表示方法はウィンドウズエクスプローラーの表示方法とは異なります。ウィンドウズエクスプローラーでは「C:, D:」等のようにアルファベット形式のドライブ文字を利用しながら「¥」文字で各フォルダーを区分しますがSTEALTH領域内では「0:, 1:」等のように数字形式のドライブ文字を利用しながら「/」文字で各フォルダーを区分します。

3) ファイル一覧

現在連結されているSTEALTH領域のフォルダーの下位フォルダーとファイル項目を表示します。



選択した項目がフォルダーか又はファイルかの可否と多数のフォルダーとファイルを一緒に選択した状態かの可否によって表示されるコンテキストメニューが異なります。しかし、空き領域で右クリックした場合は次のように「STEALTHエクスプローラー」の専用コンテキストメニューが表示されることにご注意ください。



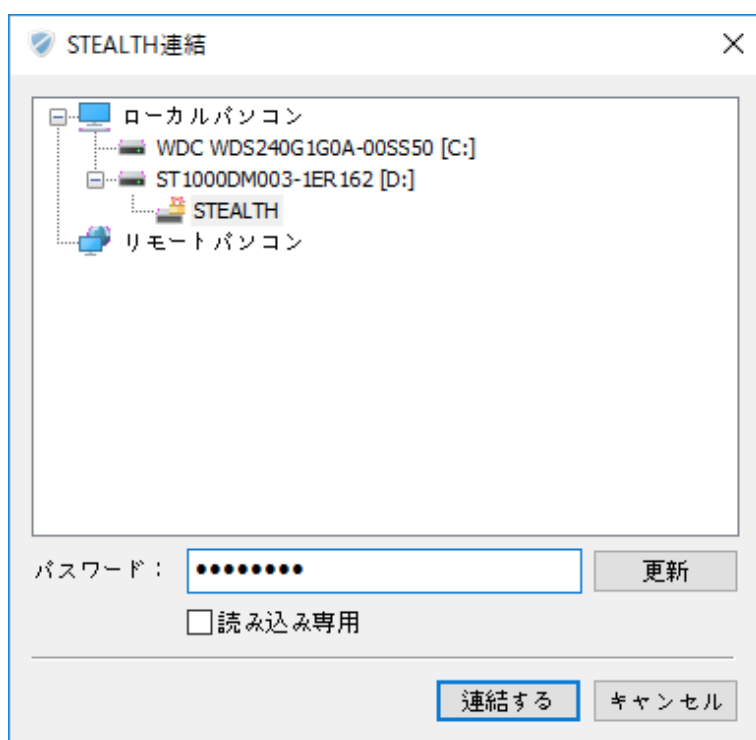
状態表示バー

「STEALTHエクスプローラー」を操作する過程でユーザーに表示する各状態に関連する内容をテキストの形式で出力する領域です。ここへ出力されるテキストの内容と通じて現在「STEALTHエクスプローラー」の状態又は作業内容の結果等を確認することができます。リボンメニュー領域である「状態表示バー」チェックボックスを利用して表示したり隠し

たりことができます。

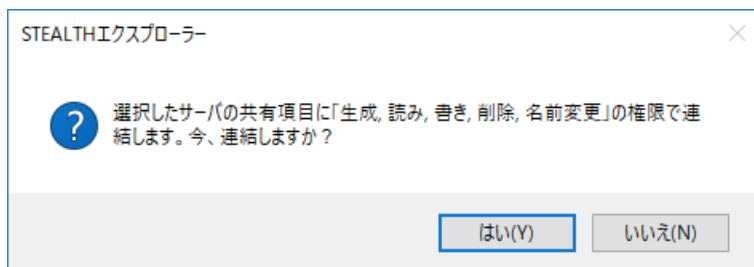
STEALTH連結ダイアログで連結

「STEALTHエクスプローラー」が基本的にSTEALTH領域を連結するために提供している方法です。「STEALTHエクスプローラー」を最初の実行した場合、又は次のようにリボンメニュー領域である「STEALTH連結」ボタンをクリックしたら「STEALTH連結」ダイアログが表示されます。

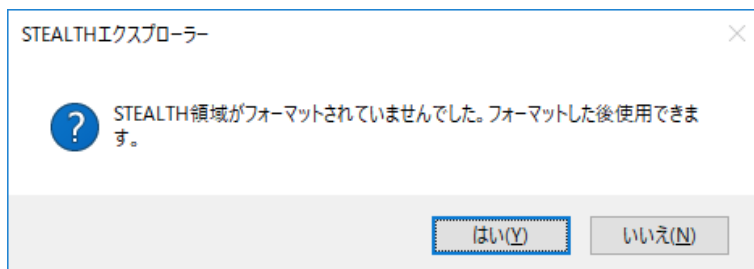


現在パソコンに連結されている全てのディスク上に既に構成されているSTEALTH領域の名前が表示されます。「リモートパソコン」項目では現在連結されているSTEALTH File Serverからログインされたアカウントにアクセスが許可されている共有が表示されます。

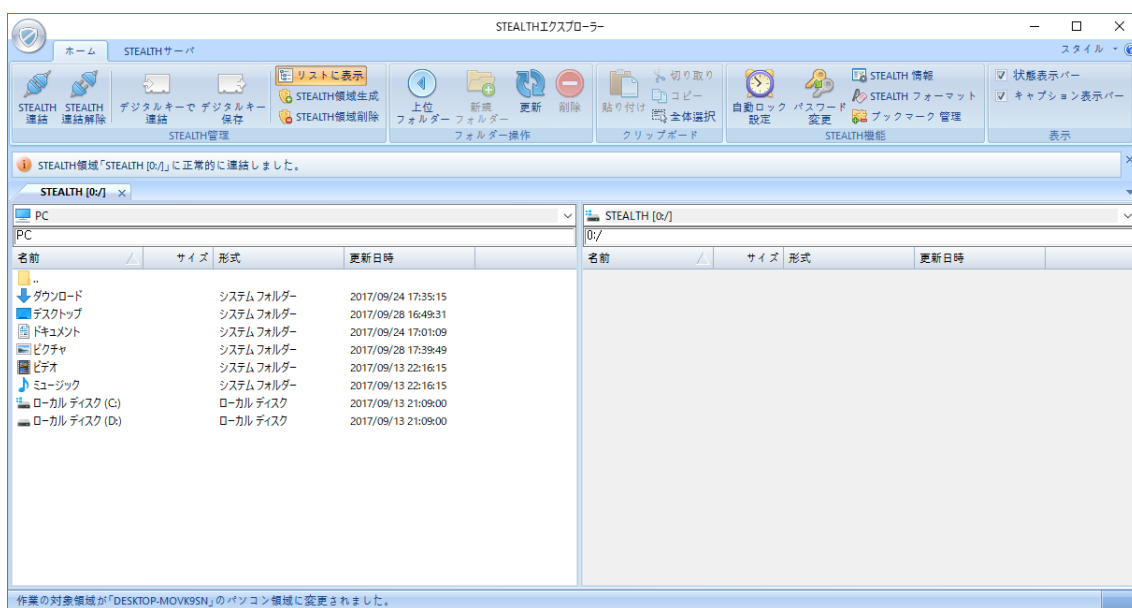
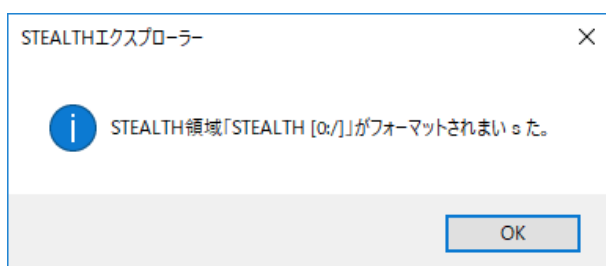
連結するSTEALTH領域項目を選択した後パスワードを入力してから「連結する」ボタンをクリックします。この時「読み込み専用」チェックボックスをチェックした状態で連結したら該当STEALTH領域を読み込み専用モードで連結します。連結するSTEALTH領域がSTEALTH File Serverから提供される共有の場合は別にパスワードを入力する必要はありませんが次のようなその権限を知らせるダイアログが表示されます。



STEALTH領域を生成した後最初に連結する場合は次のようにフォーマットを進行することを確認するダイアログが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックして連結したSTEALTH領域に対するフォーマット作業を進行します。



連結したSTEALTH領域に対するフォーマットが正常的に完了したら以下のようなダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。「STEALTH Explorer」の基本画面が表示されます。



デジタルキーで連結

STEALTH連結ダイアログを利用する場合は汎用で提供される「STEALTHエクスプローラー」プログラムを実行するのみで特定のディスク上にSTEALTH領域の存在可否をすぐ確認できます。より高い秘密性が要求されるSTEALTH領域の場合はこのようにSTEALTH連結ダイアログに表示されないように設定できます。このように設定されているSTEALTH領域はそのデジタルキーで連結できます。

注意事項: STEALTH File Serverから提供される共有に連結する場合はこの機能と“デジタルキー保存”機能を使用することができません。

参考事項:「デジタルキーとは?」—各STEALTH領域ではそれを生成する際に固有な暗号化キーとその他の設定値が自動的に設定されます。こんな値は最終的にユーザーが提供したパスワードによって全体的に暗号化されてデジタルキーになります。つまり、CIDISK™ PROが生成するすべてのSTEALTH領域はいつも全世界に唯一なデジタルキーを持っているようになり、ユーザーがパスワード又はデジタルキーを構成する各種設定値を変更する際に自動的にアップデートされます。従ってユーザーはデジタルキーが変更される毎に再度バックアップする必要があります。

デジタルキーを利用してSTEALTH領域連結するためには該当STEALTH領域の最近のデジタルキーを必ずバックアップしなければなりません。デジタルキーの詳細なバックアップ方法については「デジタルキー保存」部分をご参考ください。

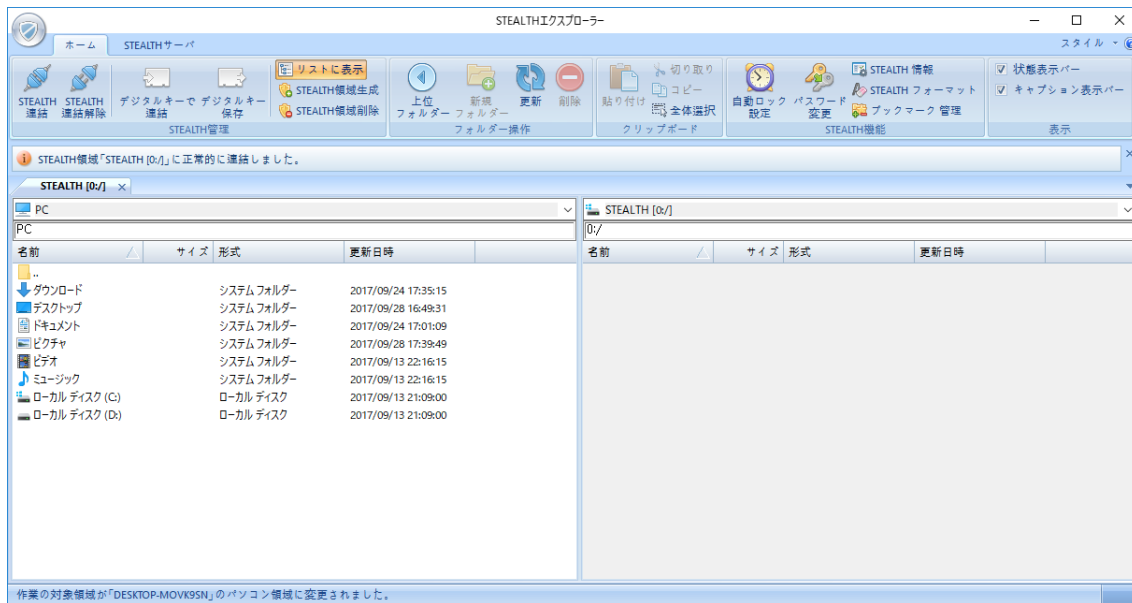
先ず「STEALTHエクスプローラー」を実行した後表示される「STEALTH連結する」ダイアログを「キャンセル」ボタンを利用して終了した後次のようにリボンメニュー領域である「デジタルキーで連結」ボタンをクリックします。



次のように「デジタルキーで連結」ダイアログが表示されます。既にバックアップしたデジタルキーを入力してから必要な場合「読み込み専用」チェックボックスをチェックしてから「連結する」ボタンをクリックします。



パスワードが一致したら次のように該当STEALTH領域の内容が「STEALTHエクスプローラー」の基本画面で表示されます。

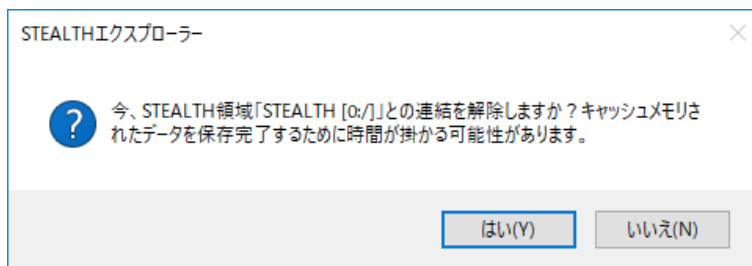


STEALTH連結解除

使用を完了したSTEALTH領域との連結を解除します。次のようにリボンメニュー領域である「STEALTH連結解除」ボタンをクリックしたり該当STEALTH領域のタブの終了ボタンをクリックしたりして連結を解除することができます。



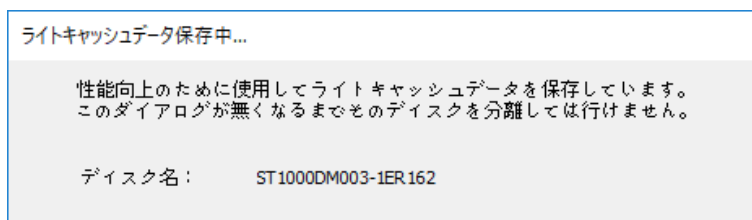
次のように該当STEALTH領域との連結を解除することを確認するダイアログが表示されます。



「はい(Y)」ボタンをクリックして該当STEALTH領域との連結を解除します。

注意事項: STEALTH領域にファイル又はフォルダーをコピーや移動する時に性能を向上するために内部的に“キャッシュバーパ”を使用します。そのバーパ内のデータが全てディスクに完全に保存される時までそのディスクが分離されないようにしてください。この場合ディスクの分離によってデータの損失が発生する可能性があります、これに対しては当社が保証しないことをご注意ください。

“キャッシュバーパ”の内容がディスクに保存している間には次のようなダイアログが表示されます。そのダイアログが無くなるまで該当ディスクが分離されないようにして少々お待ちください。

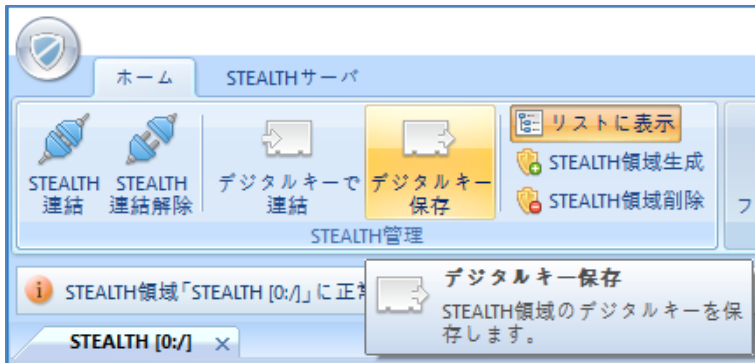


参考事項: 該当STEALTH領域が存在しているディスクがパソコンから分離されたり等によってそのディスクと正常なデータ入出力ができないようになってしまった場合も別の確認用ダイアログが表示されなくてその連結が自動的に解除されますのでご注意ください。

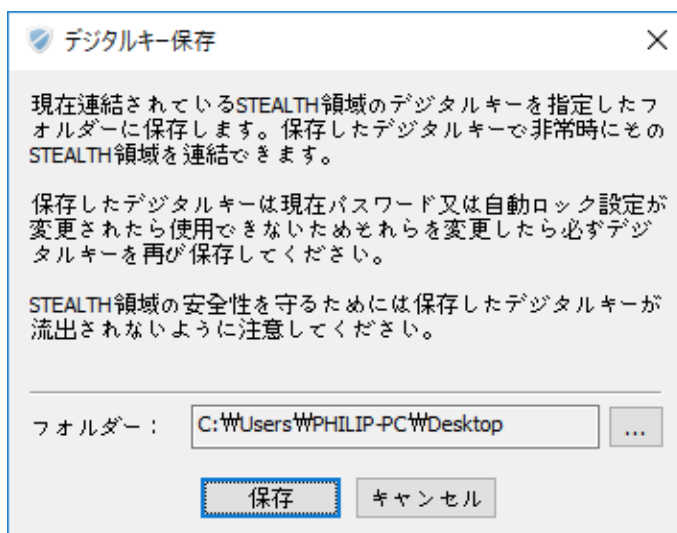
デジタルキー保存

現在連結されているSTEALTH領域のデジタルキーをファイルとして保存することができます。次のようにリボンメニュー領域である「デジタルキー保存」ボタンをクリックします。

注意事項: STEALTH File Serverから提供される共有に連結する場合はこの機能を使用することができません。

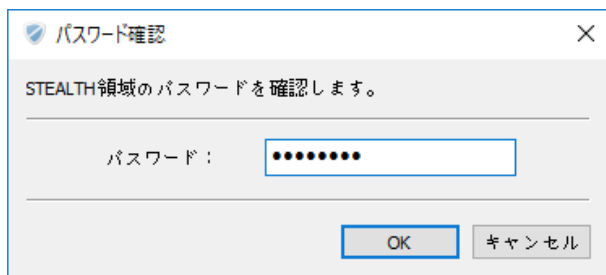


次のように「デジタルキー保存」ダイアログが表示されます。

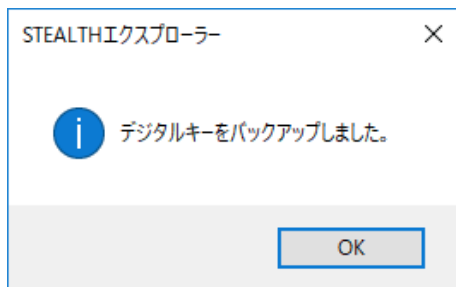


デジタルキーはパスワード又は自動ロック設定が変更されたら一緒に更新されます。従ってパスワード又は自動ロック設定を変更したら再びデジタルキーを保存する必要があります。デジタルキーを保存するフォルダーを選択した後「保存」ボタンをクリックします。

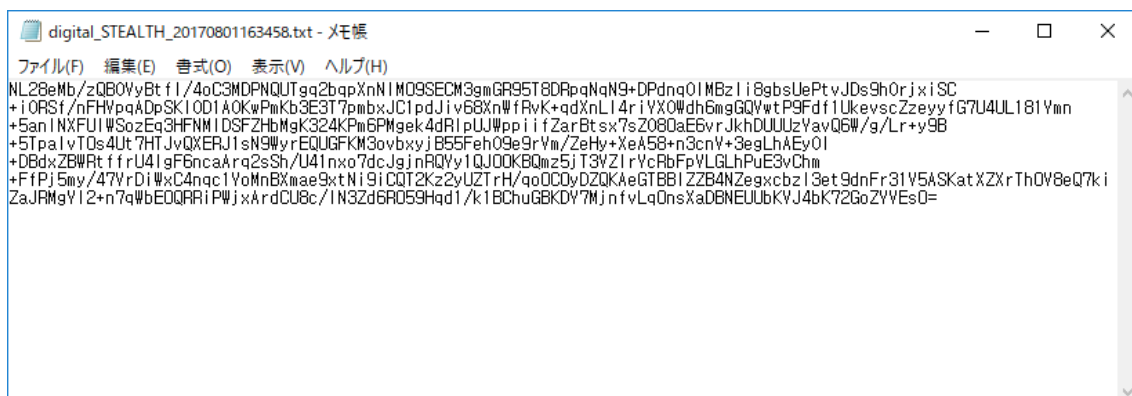
次のように「パスワード確認」ダイアログが表示されます。現在連結されているSTEALTH領域のパスワードを入力してから「OK」ボタンをクリックします。



指定したフォルダーにデジタルキーの保存が完了したら次のようにデジタルキーの保存が完了された内容のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



次のように保存完了したデジタルキーの内容がメモ帳で表示されます。デジタルキーは全部コピーができるASCII文字で構成されて保存されますのでクリップボード機能を利用してコピーと貼り付けることができます。



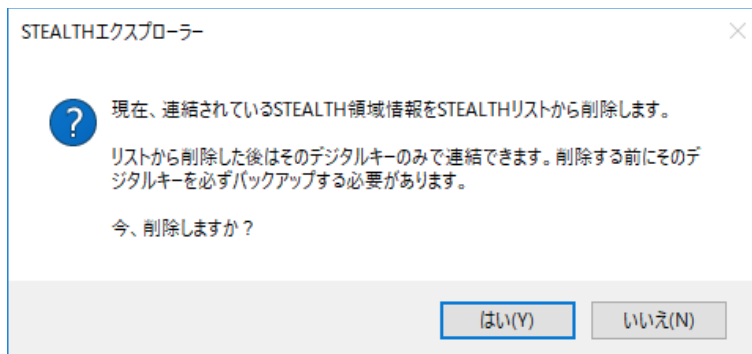
リストに表示

現在連結されているSTEALTH領域の情報を「STEALTH連結」ダイアログ内のリストに表示するかどうかを指定できます。次のようにリボンメニュー領域である「リストに表示」ボタンをクリックします。このボタンはトグル形式のボタンあり、現在STEALTH領域のリストに表示に対する状態情報を表示する機能も持っています。

注意事項: STEALTH File Serverから提供される共有に連結する場合はこの機能を使用することができません。

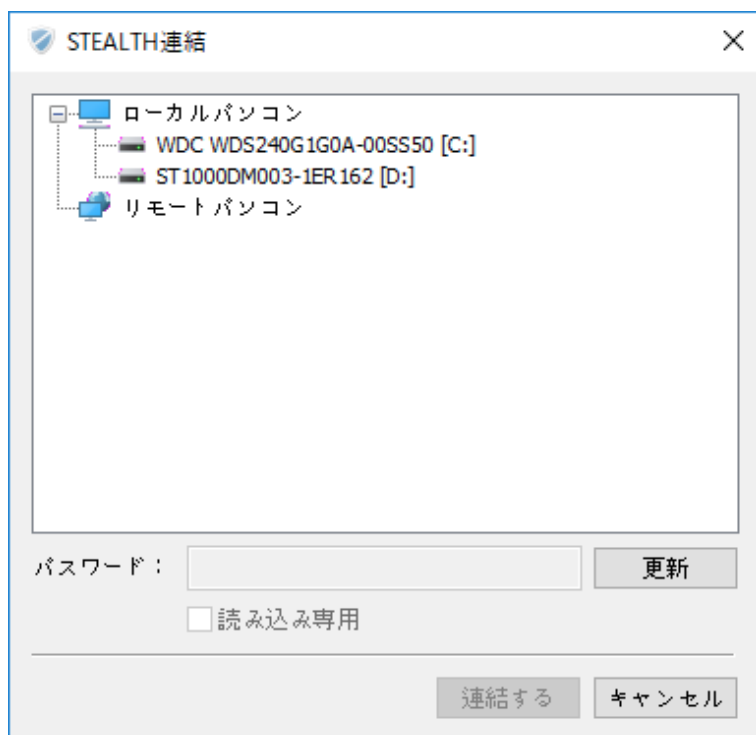


上のように現在連結されているSTEALTH領域はリストに表示されるように設定されています。この状態で「リストに表示」ボタンをクリックしたら、次のようなダイアログが表示されます。

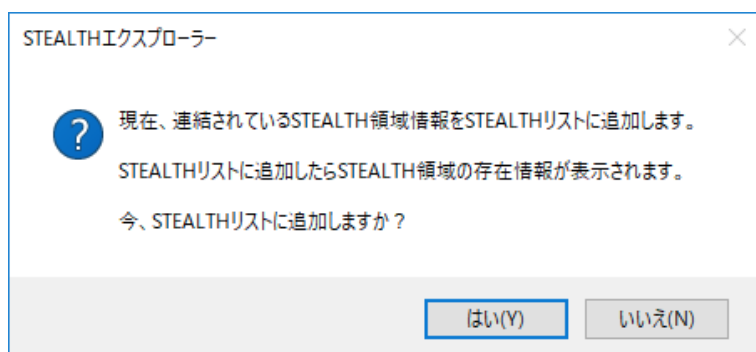


STEALTH領域をリストから削除したらその以降からは該当STEALTH領域のデジタルキーのみを利用して連結できるように制限されます。従って該当STEALTH領域の最新デジタルキーを別に保存したことを必ず確認してから「はい(Y)」ボタンをクリックし、該当STEALTH領域がリストから削除されるようにします。

リストから削除が完了されたSTEALTH領域はその以降、次のように「STEALTH連結」ダイアログが表示されても選択できる項目として表示されないようになります。



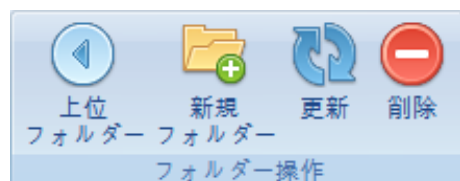
リストに表示されないように設定されたSTEALTH領域はデジタルキーを利用して連結できます。その連結ができたなら
 ボンメニュー領域である「リストに表示」ボタンを再度クリックしてリストに表示されるようにその設定を戻ることができます。
 次のように再度リストに表示するかを確認するダイアログが表示されます。



リストに表示されるように設定したら該当STEALTH領域を直接連結した状態ではない場合も「STEALTH連結」ダイア
 ログにその領域の存在が表示されます。この特徴に注意して使用するSTEALTH領域の表示可否を決定して使用して
 ください。

フォルダー操作

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域に対して様々なフォルダーに関連した操作ができます。これに関連したリボンメニューは次のようです。



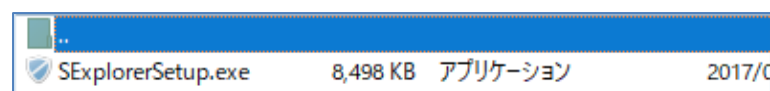
上位フォルダー

現在の作業領域がパソコン又はSTEALTH領域である場合、このボタンをクリックして「ファイル一覧」の内容を現在表示されているフォルダーの上位フォルダーの内容に更新できます。

次のように多数の方法で上位フォルダーに移動できます。



コンテキストメニューである「上位フォルダーに移動(U)」をクリックしたり、キーボードのBackspaceキーを押さえたりして上位フォルダーに移動できます。



上のように「ファイル一覧」領域で表示されている「..」項目をマウスでダブルクリックしても上位フォルダーに移動できます。しかし、「ファイル一覧」領域でパソコン領域又はSTEALTH領域の最上位フォルダーの内容である場合は「..」項目が表示されないため、ご注意ください。

新規フォルダー

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域で新規フォルダーを生成できます。パソコン領域の場合は現前選択されたフォルダーの特徴によって新規フォルダーの生成ができない場合もあることにご注意ください。

新規フォルダーを生成したら次のようにすぐにそのフォルダー名を変更することができるようなモードに変換されて該当フォルダー名を新たに変更できます。

..		
経営計画	ファイル フォルダー	2017/0
販売計画	ファイル フォルダー	2017/0
新規フォルダー	ファイル フォルダー	2017/0
製品情報	ファイル フォルダー	2017/0

新規フォルダーを生成する過程ではない場合、フォルダー名を変更するためにはキーボードのF2キーを押さえたり、該当「**ファイル一覧**」の項目でマウスの左ボタンを長く押さえたりして変換モードに進入できます。

次のようにコンテキストメニューである「**新規フォルダーを(N)**」項目をクリックしたりキーボードのCtrl+Nキーを押さえたりしても新規フォルダーを生成できます。



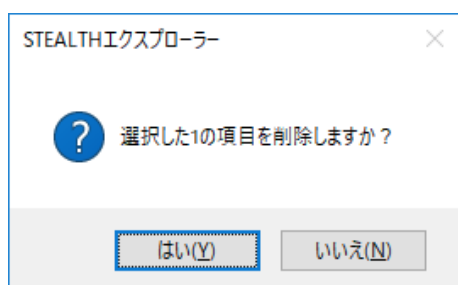
更新

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域の現在フォルダーの内容を更新します。キーボードのF5キーを押さえても更新できます。

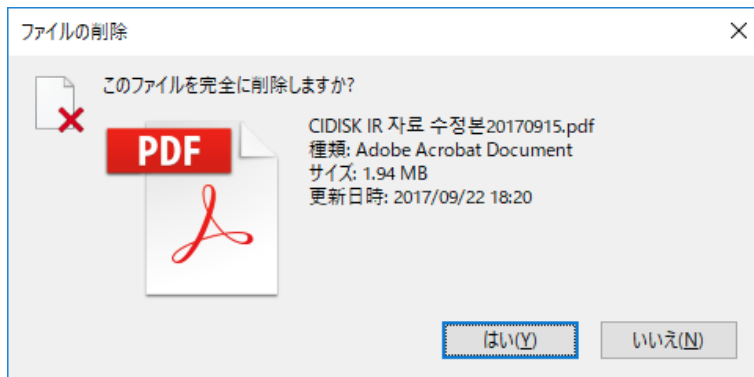
削除

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域の選択された項目を削除します。パソコン領域の場合は選択した項目の特徴によって削除できない場合もあることにご注意ください。

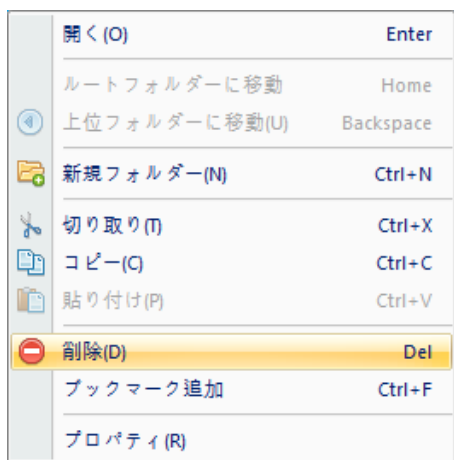
STEALTH領域から項目の削除を進行したら次のような削除作業を確認するダイアログが表示されます。



パソコン領域から項目の削除を進行したら次のような削除作業を確認するダイアログが表示されます。

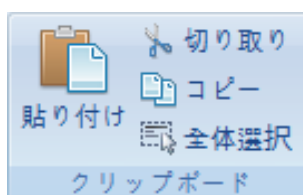


次のようにコンテキストメニューである「削除(D)」項目をクリックしたり、キーボードのDelキーを押さえても削除できます。



クリップボード機能

ウィンドウズエクスプローラーを含めてその他のアプリケーションと「STEALTHエクスプローラー」の間にクリップボードを利用してデータ又はファイルやフォルダーのコピー、切り取りや貼り付けの作業ができます。関連したリボンメニューは次のようです。



貼り付け

OSのクリップボードに互換されるデータが保存されている場合使用できるように活性化されます。キーボードのCtrl+Vキーを利用したり、次のようにコンテキストメニューである「貼り付け(P)」項目をクリックしたりしても貼り付けができます。

	ルートフォルダーに移動	Home
⬅	上位フォルダーに移動(U)	Backspace
📁	全体選択(A)	Ctrl+A
📁	新規フォルダー(N)	Ctrl+N
📄	貼り付け(P)	Ctrl+V
	ブックマーク追加	Ctrl+F

「STEALTHエクスプローラー」はウィンドウズエクスプローラー以外の場合も「OLEデータオブジェクト」基盤のクリップボードを支援する様々なアプリケーションとクリップボードを通じて多様な操作を支援します。しかし、クリップボードに保存されているデータの種類の種類がファイルやフォルダーの場合のみ互換されるためご注意ください。

取り切り

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域の「**ファイル一覧**」領域から選択したフォルダー又はファイル項目を取り切りしてクリップボードに保存できます。パソコン領域の場合は項目の特徴によって取り切り作業ができない場合もあるためご注意ください。

次のようにコンテキストメニューである「**取り切り(T)**」項目を選択したり、キーボードの**Ctrl+X**キーを押さえても取り切り作業ができます。

	開く(O)	Enter
	ルートフォルダーに移動	Home
⬅	上位フォルダーに移動(U)	Backspace
📁	新規フォルダー(N)	Ctrl+N
✂	切り取り(T)	Ctrl+X
📄	コピー(C)	Ctrl+C
📄	貼り付け(P)	Ctrl+V
🚫	削除(D)	Del
	ブックマーク追加	Ctrl+F
	プロパティ(R)	

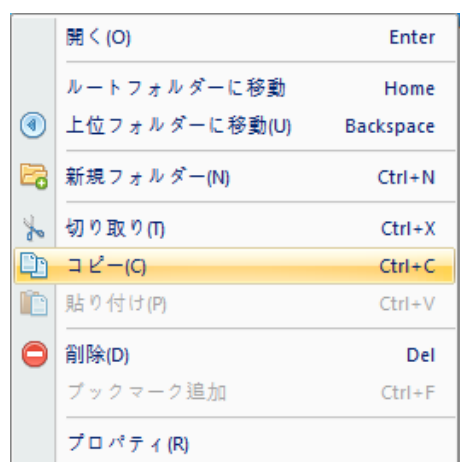
「STEALTHエクスプローラー」はウィンドウズエクスプローラー以外の場合も「OLEデータオブジェクト」基盤のクリップボードを支援する様々なアプリケーションとクリップボードを通じて多様な操作を支援します。しかし、クリップボードに保存されているデータの種類の種類がファイルやフォルダーの場合のみ互換されるためご注意ください。つまり、STEALTH領域から取り切りした項目をウィンドウズエクスプローラーもちろん他のアプリケーションで直接貼り付けることができます。

コピー

現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域の「**ファイル一覧**」領域から選択したフォルダー又はファイル項目をコピーしてクリップボードに保存できます。パソコン領域の場合は項目の特徴によってコピー作業ができない場合

もあるためご注意ください。

次のようにコンテキストメニューである「コピー(C)」項目をクリックしたり、キーボードのCtrl+Cキーを押さえてもコピー作業ができます。



「STEALTHエクスプローラー」はウィンドウズエクスプローラー以外の場合も「OLEデータオブジェクト」基盤のクリップボードを支援する様々なアプリケーションとクリップボードを通じて多様な操作を支援します。しかし、クリップボードに保存されているデータの種類の種類がファイルやフォルダーの場合のみ互換されるためご注意ください。

全体選択

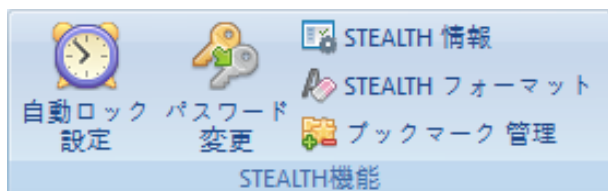
現在連結されているSTEALTH領域又はパソコン領域の「ファイル一覧」領域に表示されている全てのフォルダー又はファイル項目を全体的に選択できます。

次のようにコンテキストメニューである「全体選択(A)」項目をクリックしたり、キーボードのCtrl+Aキーを押さえても全体選択できます。



STEALTH機能

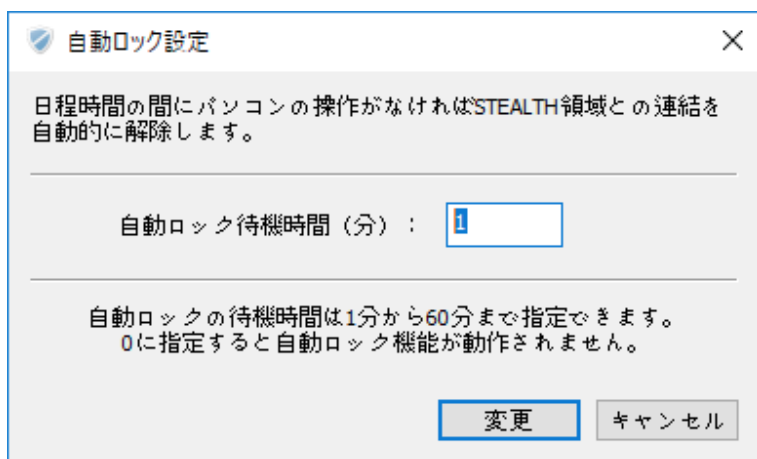
現在連結されているSTEALTH領域に対して各種の設定機能を使用できます。関連したリボンメニューは次のようです。



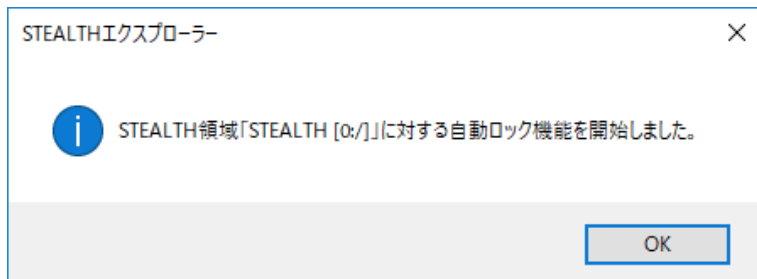
自動ロック設定

現在連結されているSTEALTH領域に対するマウス又はキーボードの操作が一定時間の間にない場合該当 STEALTH領域に対する連結を自動的に解除するように設定できます。


「自動ロック設定」ボタンをクリックしたら次のように「自動ロック設定」ダイアログが表示されます。



自動ロックを向けた待機時間は分単位で指定し、最小0から60まで指定できます。0で指定したら自動ロック機能が動作しないように設定されますのでご注意ください。自動ロックの待機時間を入力してから「変更」ボタンをクリックしたら自動ロックの待機時間に変更されてから次のような確認ダイアログが表示されます。



自動ロック機能が設定された後指定した時間の間にパソコンに対するマウス又はキーボードの操作がない場合は待機時間の満了20秒前から次のように「キャプション表示パー」領域に案内メッセージが表示されます。

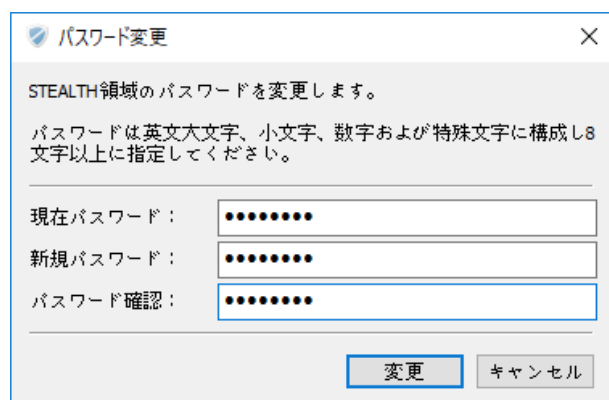
 15秒の以降には「STEALTH [0:/]」の領域が自動的に閉じられます。

注意事項: 自動ロック設定の変更が完了したら該当STEALTH領域のデジタルキーも一緒に変更されます。
デジタルキーは非常時に必ず必要なデータなので自動ロック設定を変更した毎には再び別のファイルとして保存することを推奨します。

パスワード変更

現在連結されているSTEALTH領域に対するパスワードを変更できます。

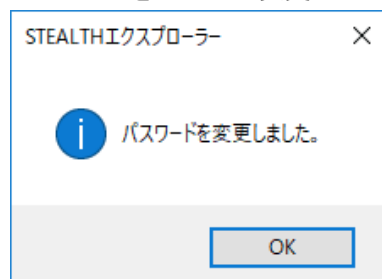
「パスワード変更」をクリックしたら次のように「パスワード変更」ダイアログが表示されます。



新規パスワードは次の規則に合わせて指定してください。

- 既存パスワードと違うこと
- 英語大文字は1文字以上を含むこと
- 英語小文字は1文字以上を含むこと
- 数文字は1文字以上を含むこと
- 特殊文字は1文字以上を含むこと
- 最小8文字以上に構成すること
- 最大64文字以下に構成すること

パスワードを正常的に変更したら次のようにその内容を知らせるダイアログが表示されます。

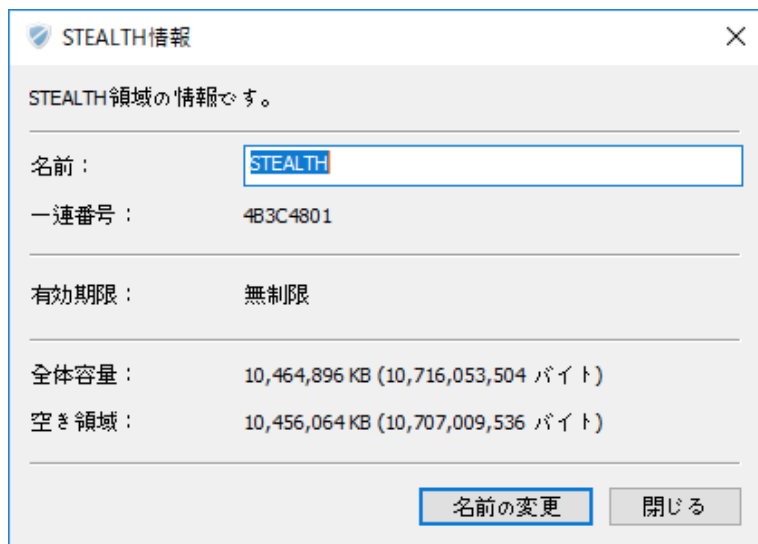


注意事項: パスワードの変更が完了したら該当STEALTH領域のデジタルキーも一緒に変更されます。デジタルキーは非常時に必ず必要なデータなのでパスワードを変更した毎には再び別のファイルとして保存することを推奨します。

STEALTH情報

現在連結されているSTEALTH領域の主要属性情報を確認することと該当STEALTH領域名を直接変更できます。「STEALTH情報」ボタンをクリックしたら次のように「STEALTH情報」ダイアログが表示されます。

注意事項: STEALTH File Serverから提供される共有に連結する場合はこの機能はSTEALTH領域の情報に対する照会機能として利用でき、名前変更機能は利用できません。



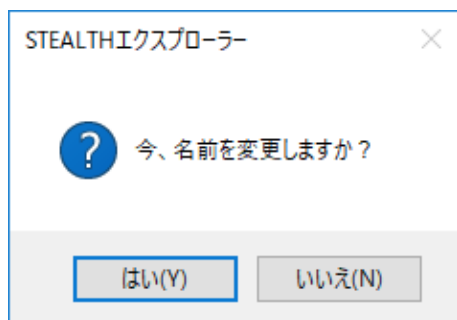
STEALTH情報

STEALTH領域の情報です。

名前:	STEALTH
一連番号:	4B3C4801
有効期限:	無制限
全体容量:	10,464,896 KB (10,716,053,504 バイト)
空き領域:	10,456,064 KB (10,707,009,536 バイト)

名前の変更 閉じる

現在連結されているSTEALTH領域の名前を変更できます。最大11文字以内に指定してから「名前の変更」ボタンをクリックします。次のように名前の変更を確認するダイアログが表示されます。「はい(Y)」ボタンをクリックして名前の変更作業を完了します。

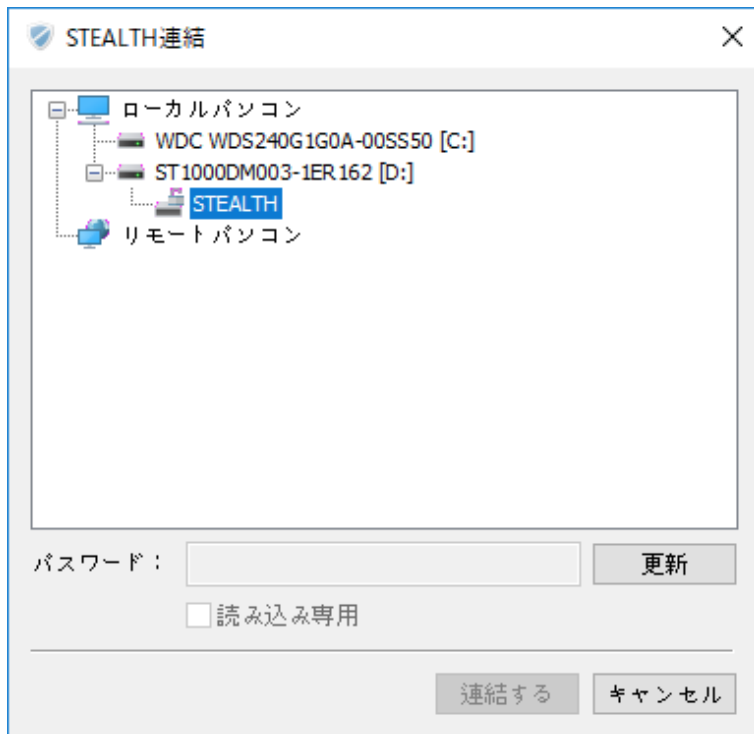


STEALTHエクスプローラー

? 今、名前を変更しますか?

はい(Y) いいえ(N)

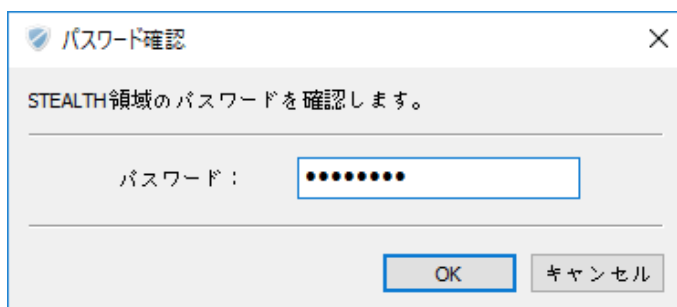
変更した名前は「STEALTH連結」ダイアログに次のように表示されます。



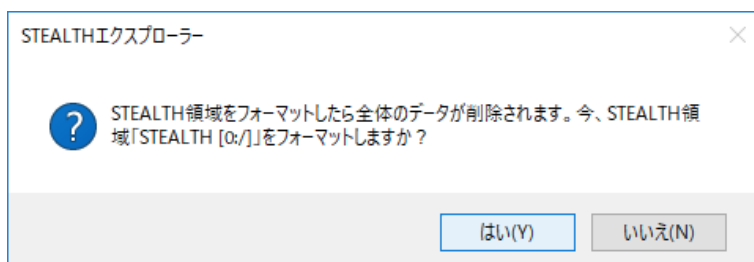
STEALTHフォーマット

現在連結されているSTEALTH領域をフォーマットして初期化できます。「STEALTHフォーマット」ボタンをクリックしたら次のように該当STEALTH領域のパスワードを確認するダイアログが表示されます。

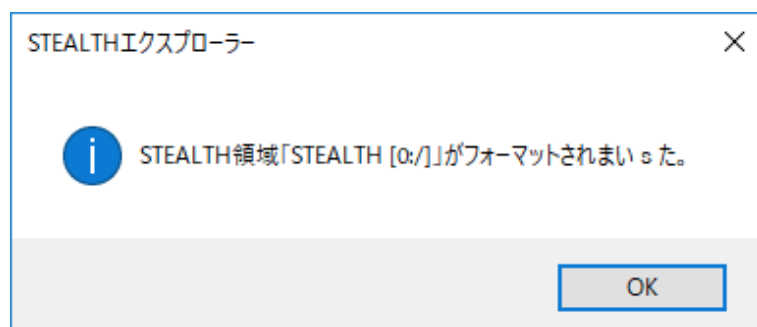
注意事項: STEALTH File Serverから提供される共有に連結する場合はこの機能を使用することができません。



パスワードを正常的に入力してから「OK」ボタンをクリックしたら次のように該当STEALTH領域に対するフォーマット作業の進行に対する確認ダイアログが表示されます。



「はい(Y)」ボタンをクリックして該当STEALTH領域をフォーマットします。フォーマット作業を正常的に完了したら次のようにその内容を知らせるダイアログが表示されます。

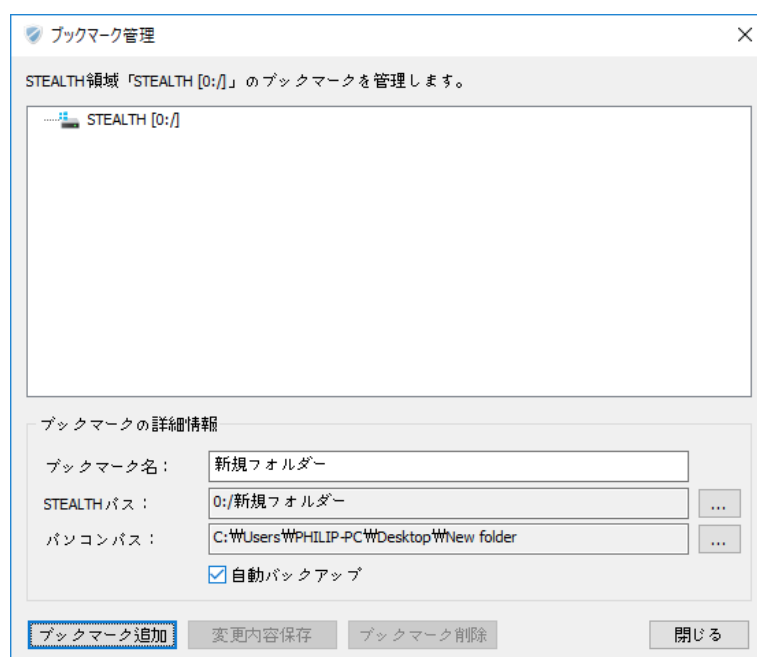


注意事項: STEALTH領域をフォーマットした後以前データの復旧は支援されないのでSTEALTH領域に対するフォーマットは慎重に進行してください。

ブックマーク管理

現在連結されているSTEALTH領域にたいしてブックマーク項目を構成して管理することができます。ブックマーク項目は一つのパソコン領域のフォルダーとSTEALTH領域のフォルダーの関係を設定するように構成でき、追加的に自動バックアップのオプションも指定できます。

自動バックアップのオプションが指定されたら該当ブックマークのパソコン領域側のフォルダーに何か生成又は変更されたフォルダー又はファイルが発見されたらそれらを該当ブックマークのSTEALTH領域側のフォルダーに自動的にバックアップします。しかし、パソコン領域側から削除されたものについてはSTEALTH領域側から削除しませんのでご注意ください。「ブックマーク管理」ボタンをクリックしたら次のように「ブックマーク管理」ダイアログが表示されます。「ブックマーク管理」ダイアログでは新規ブックマークの追加、既存ブックマークの変更や削除ができます。



STEALTH領域から設定した各ブックマークの情報は該当STEALTH領域ないの別の予約空間に保存され、パソコンのディスクでは何も保存しません。

STEALTHエクスプローラー活用

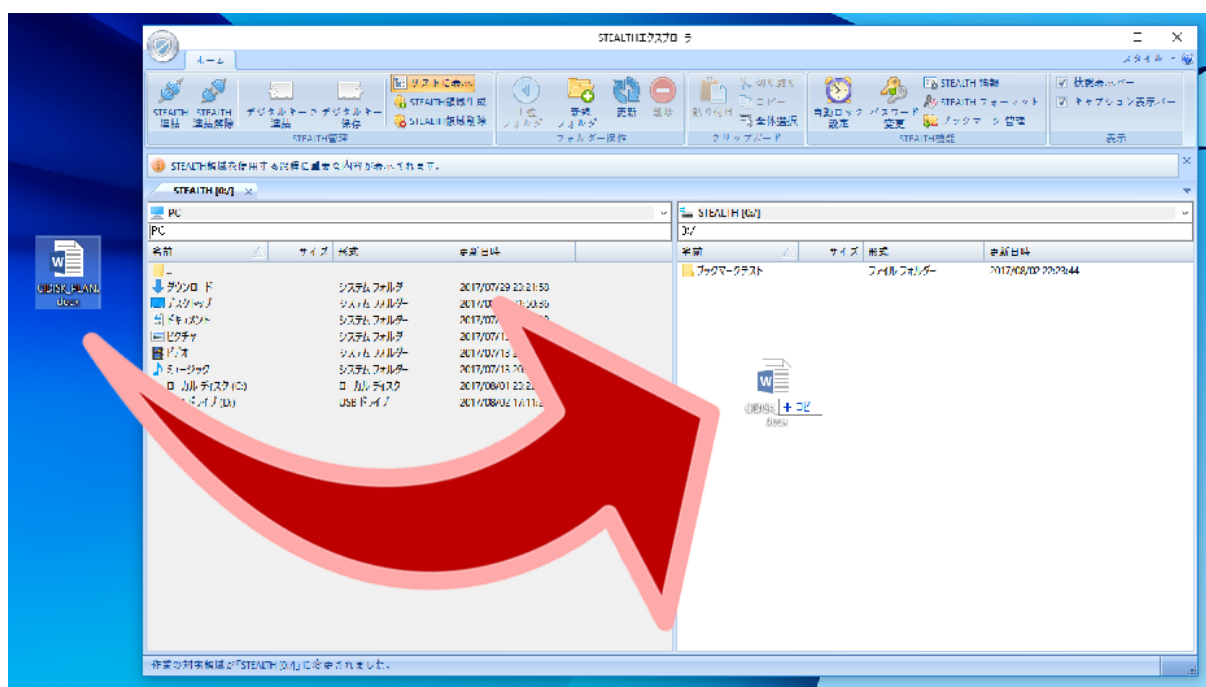
CIDISK™ PROが提供する「STEALTHエクスプローラー」は次のように多様な作業について便利性を追加的に提供します。

Drag & Drop

「STEALTHエクスプローラー」は次のように多様なDrag & Drop作業を支援します。これを利用して簡単に重要なフォルダー又はファイルに対する管理作業を進行できます。

外部からSTEALTHエクスプローラーにDrag & Drop

一般アプリケーション、デスクトップ、又はウィンドウズエクスプローラーから「STEALTHエクスプローラー」のパソコン領域又はSTEALTH領域に直接フォルダー又はファイルをDrag & Dropできます。基本的なDrag & Drop時には対象位置に一般アプリケーション、デスクトップ、又はウィンドウズエクスプローラーから選択したフォルダー又はファイルがコピーされますが、Drag & Drop時にキーボードのShiftキーを押さえた状態で進行してDropした場合はそのフォルダー又はファイルが移動されるように処理されます。

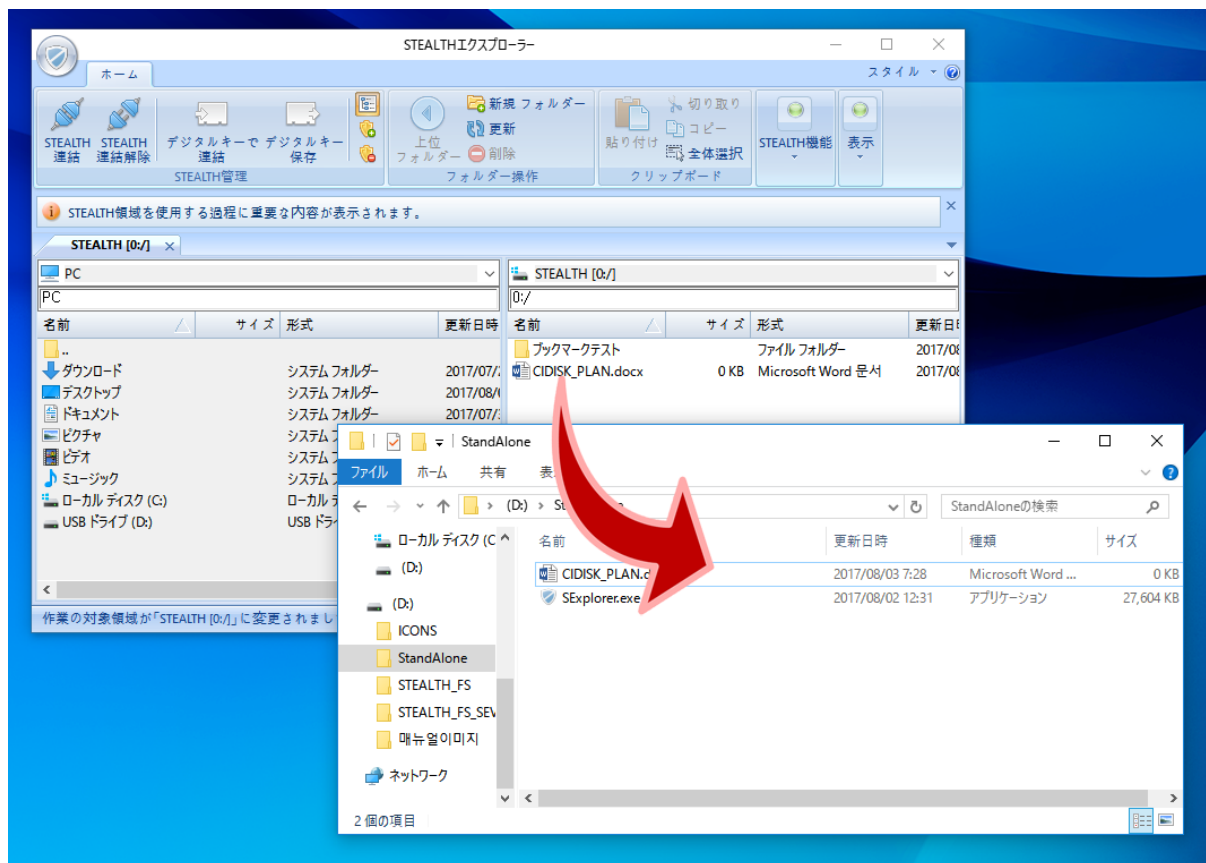


アプリケーションの特性によってコピー作業のみが支援される場合もあり、一部のアプリケーションの場合はクリップボードに対する操作はできますがDrag & Dropは支援できない場合がありますのでご参考ください。

STEALTHエクスプローラーから外部にDrag & Drop

「STEALTHエクスプローラー」のパソコン領域又はSTEALTH領域から選択したフォルダー又はファイルを外部の一般アプリケーション、デスクトップ、又はウィンドウズエクスプローラーにDrag & Dropできます。

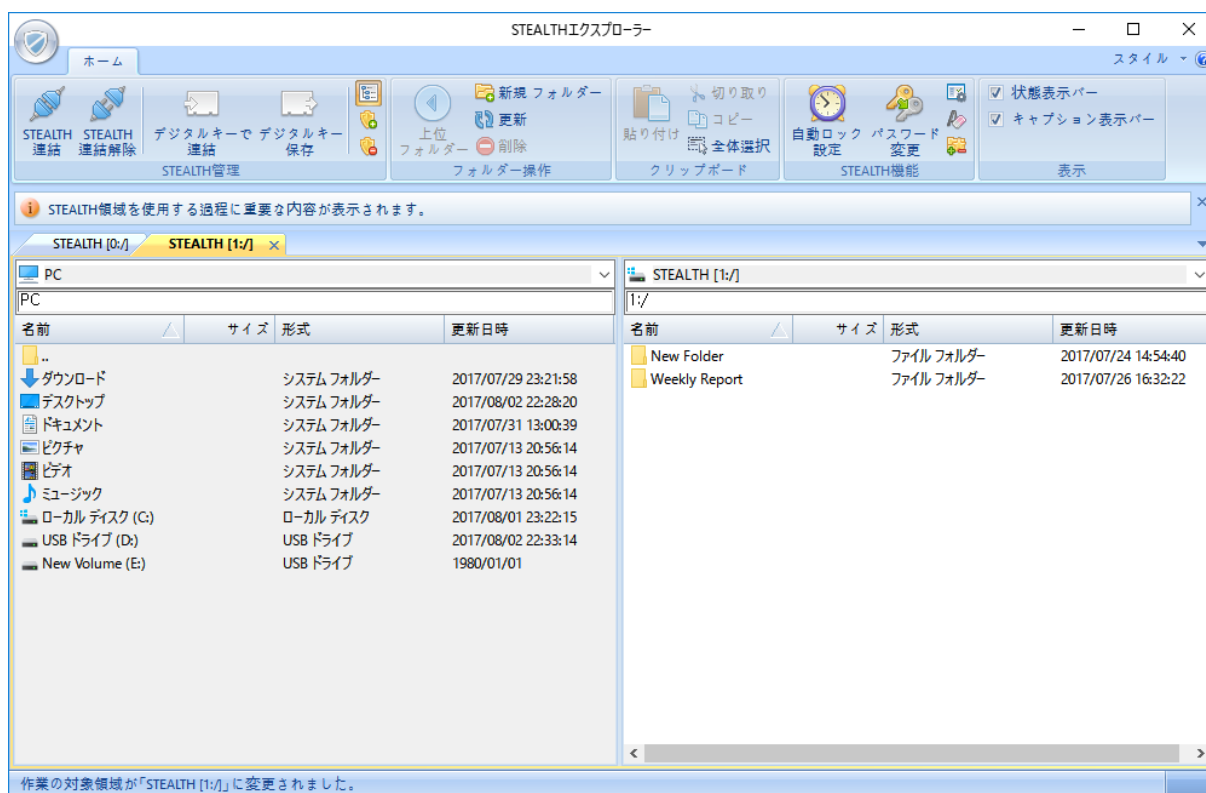
次は連結されているSTEALTH領域から特定な文書をウィンドウズエクスプローラーに直接Drag & Dropしてコピーする例です。



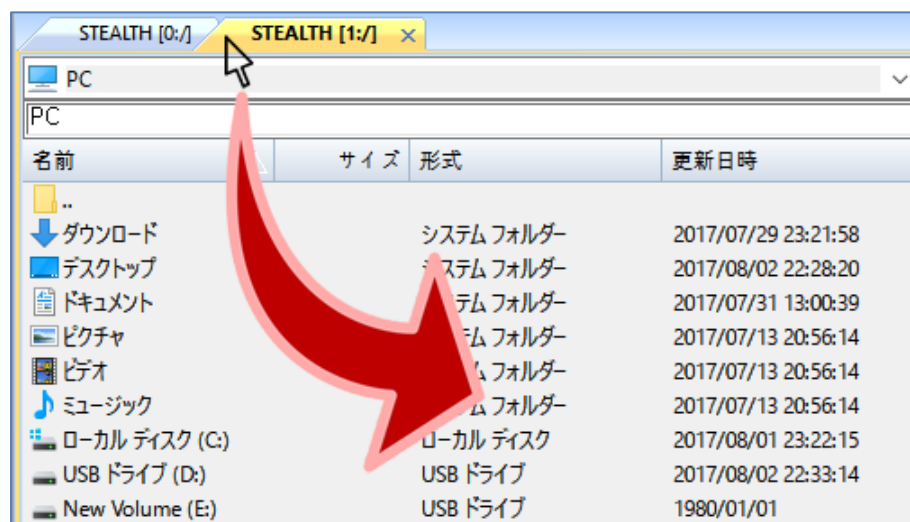
基本的には「STEALTHエクスプローラー」からDrag & Dropしたフォルダー又はファイルが対象アプリケーションにコピーされますが、DropするまでキーボードのShiftキーを押さえた状態でしたらそのフォルダー又はファイルが移動されるように処理されますのでご参考ください。

STEALTH領域間のDrag & Drop

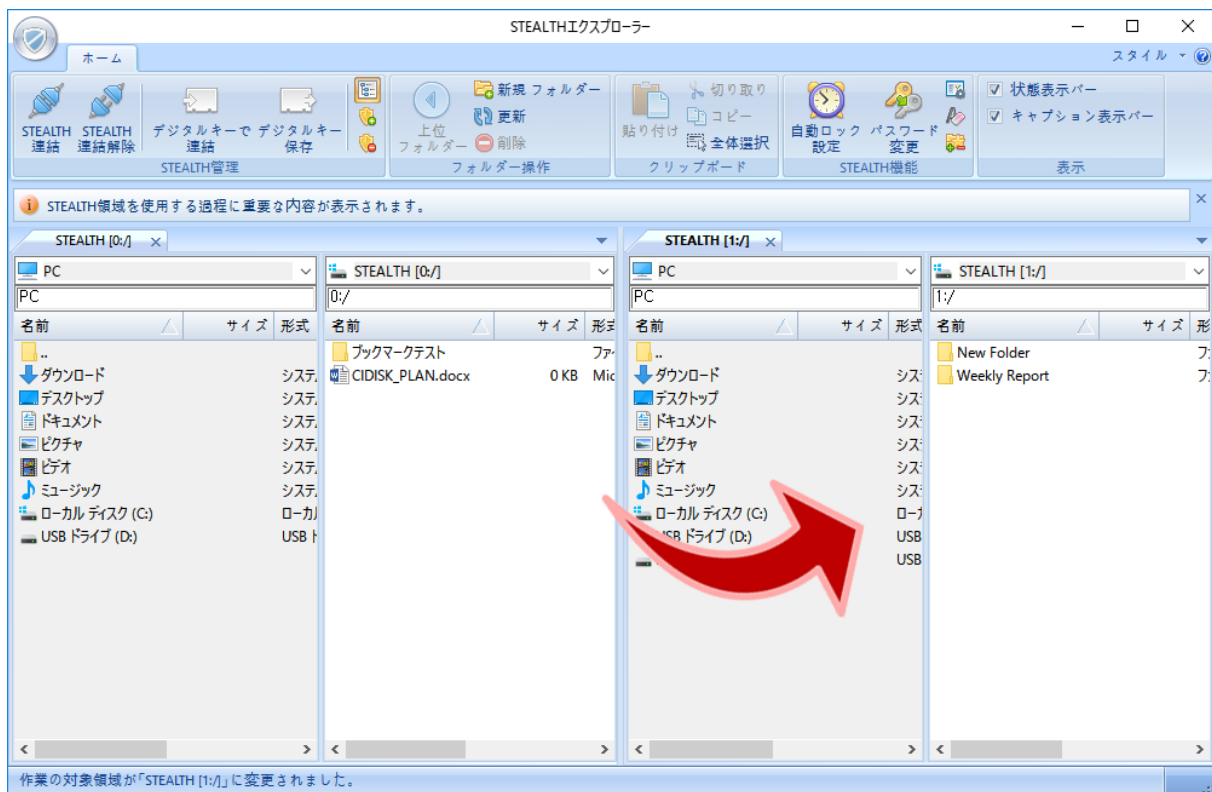
「STEALTHエクスプローラー」は複数のSTEALTH領域を同時に連結して管理できます。次は同時に二つのSTEALTH領域を連結した例です。



上の状態で一つのSTEALTH領域の名前を表示するタブをクリックして次のように下にDrag & Dropします。



STEALTH領域の名前を表示するタブをDrag & Dropしたら次のように「STEALTHエクスプローラー」のモードが変更され、特定なSTEALTH領域から他のSTEALTH領域へのDrag & Dropができるようになります。

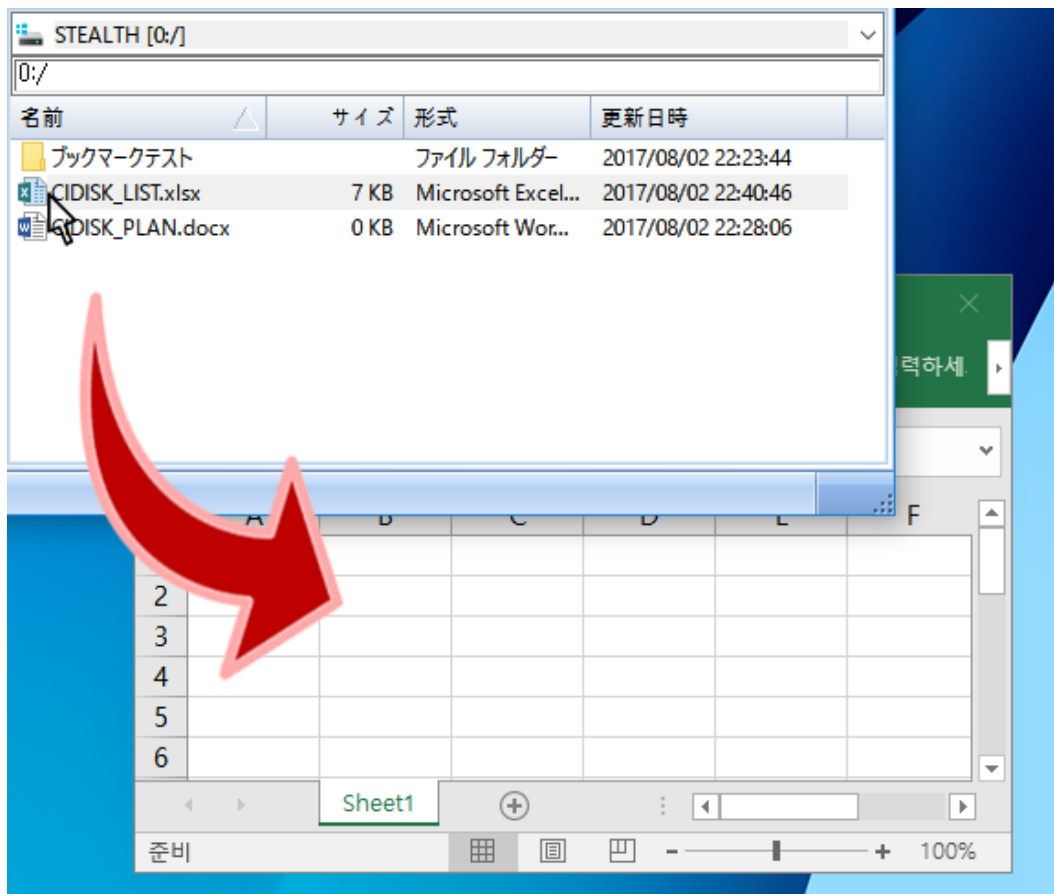


上のように特定なSTEALTH領域から他のSTEALTH領域に直接Drag & Dropを進行する場合はそのフォルダー又はファイルがコピー又は移動される過程でパソコン領域の臨時フォルダー等を使用されないようになり、より安全にデータのコピー又は移動することができるようになります。

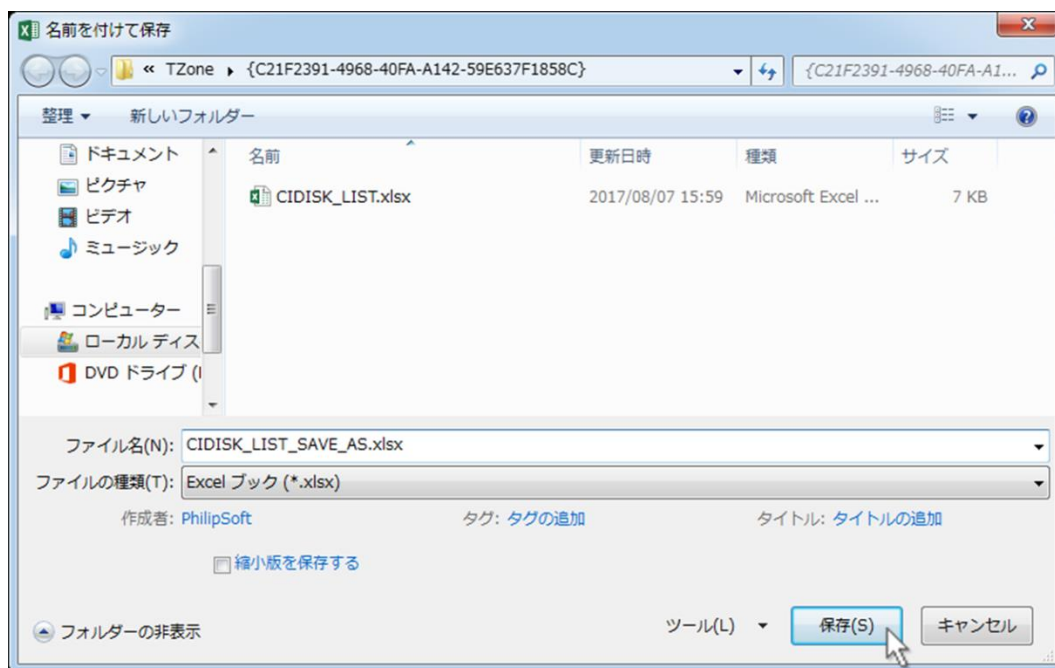
名前を付けて保存

「STEALTHエクスプローラー」を利用して特定STEALTH領域ないの各種文書を直接編集することができます。この時編集する文書のアプリケーションはSTEALTH領域にアクセスできないので「STEALTHエクスプローラー」は臨時フォルダーにその文書を先にダウンロードしてから編集できるように処理します。

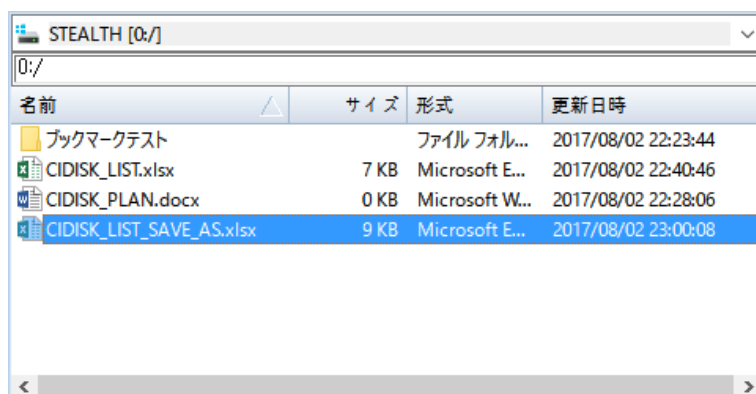
先に次のようにSTEALTH領域から編集したい文書をダブルクリックして編集モードにオープンします。



その文書にたいする編集作業を完了したらそのアプリケーションから「名前を付けて保存」を選択して現在編集している文書が臨時的に保存されているフォルダーで新規の文書として保存します。



名前を付けて保存を完了したら原本文書が保存されていたSTEALTH領域のフォルダーに次のようにその新規文書も自動的に保存されることが確認できます。



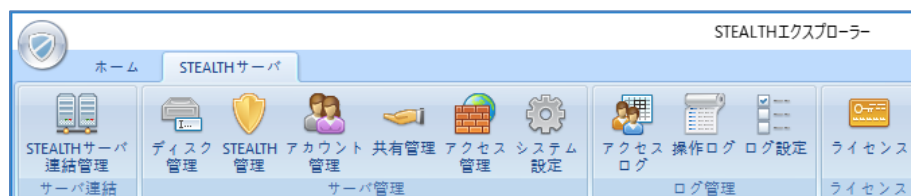
この方法でSTEALTH領域から直接編集する文書を簡単に名前を付けて保存を行ってSTEALTH領域に保存することができます。

STEALTH File Server 連結

CIDISK™ PROをSTEALTH File Serverに連結して該当サーバを管理するために使用できます。

注意事項:STEALTH File Serverのインストールや設定に関しては別途のサーバマニュアルをご参考ください。

STEALTHサーバに関連するメニューは次のように“STEALTHサーバ”というリボンメニューグループで構成されています。



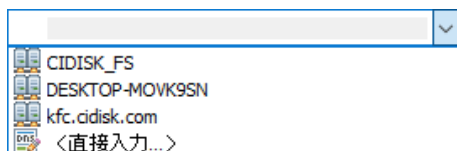
各メニューは現在特定サーバに連結している状態か、又は連結してアカウントの権限によって使用できるように、又はできないようになります。

STEALTHサーバ連結管理

CIDISK™ PROは複数のSTEALTHサーバに同時に連結して作業ができるように支援します。各サーバに対する連結管理をするためにこのメニューをクリックしたら次のようなダイアログが表示されます。

サーバ名	サーバアドレス	ポート番号	その他

先に“サーバ選択”というボックスをクリックして既に連結した履歴があるサーバ、又は新たに連結するサーバを選択します。



CIDISK™ PROは一回だけでも連結した履歴があるSTEALTHサーバの情報を保存してこのボックスに表示します。また、同一なネットマスク上にSTEALTHサーバがインストールされていて起動されている場合は該当STEALTHサーバが自身のアドレスと名前を自動的に知らせて上のようにリストに表示されるようになります。“<直接入力...>”を選択した場合はサーバ名、ポート、サーバアドレス等の全ての情報を直接入力できるようなモードに変換されます。

連結する

特定なサーバを選択したら次のように該当サーバの名前、ポート及びアドレスが自動的にアップデートされます。

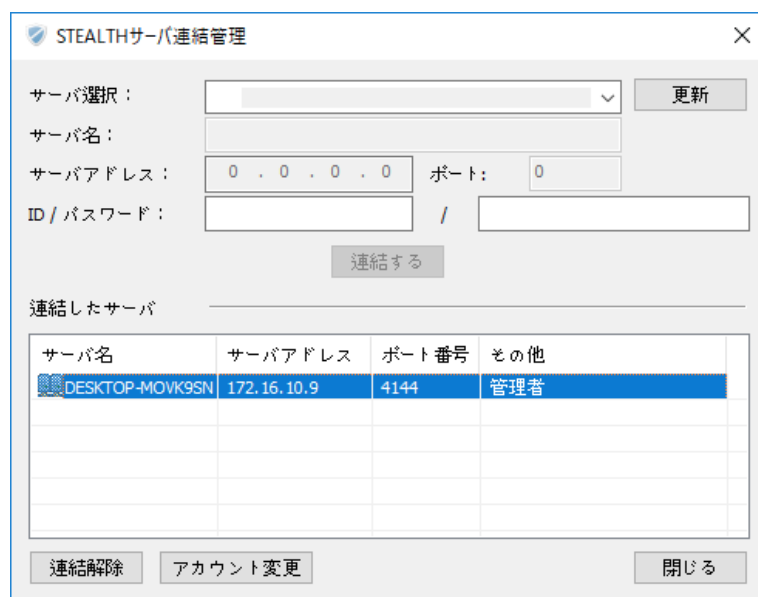
サーバ名	サーバアドレス	ポート番号	その他

“ID/パスワード”を入力した後、“連結する”ボタンをクリックします。選択したSTEALTHサーバと連結する際には次のようなダイアログが表示され、その内容を表示します。連結する際にエラーが発生した場合もその内容が次のようにそのダイアログに表示されます。

STEALTHサーバとの連結過程にエラーが発生した場合はSTEALTHサーバの状態を確認したり、ネットマスク管理者にお問合せしたりしてそのエラーの内容を把握してください。

STEALTHサーバを最初にインストールしたら14日間に使用できる体験版ライセンスが基本的に提供されます。体験版ライセンスを使用している場合は連結した直後そのライセンスが満了されるまで残っている期間を表示します。

STEALTHサーバとの連結が正常的に完了したら次のように連結したサーバの情報がリストに表示されます。



STEALTHサーバ連結管理

サーバ選択: [] 更新

サーバ名: []

サーバアドレス: [0 . 0 . 0 . 0] ポート: [0]

ID / パスワード: [] / []

連結する

連結したサーバ

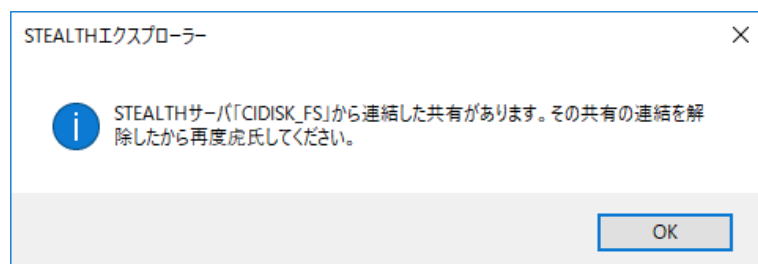
サーバ名	サーバアドレス	ポート番号	その他
DESKTOP-MOVK9SN	172.16.10.9	4144	管理者

連結解除 アカウント変更 閉じる


CIDISK™ PROとSTEALTHサーバの間の連結がネットマスク等のエラーによって解除されてしまうと“連結したサーバ”のリストから自動的に削除されますのでご注意ください。連結したサーバを選択したら“連結解除”と“アカウント変更”機能を追加的に使用できます。

連結解除

連結したサーバを選択した後“連結解除”ボタンをクリックしたら該当STEALTHサーバとの連結を解除します。正し、現在そのSTEALTHサーバから提供されている共有に連結している場合は次のような警告ダイアログが表示されます。この場合は連結しているSTEALTHサーバの共有を解除した後再びトライしてください。

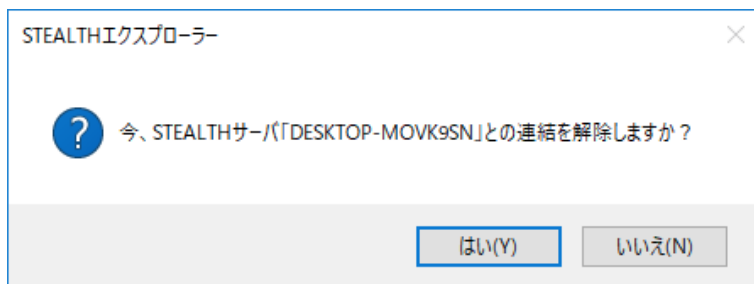


STEALTHエクスプローラー

 STEALTHサーバ「CIDISK_FS」から連結した共有があります。その共有の連結を解除してから再度虎氏してください。

OK

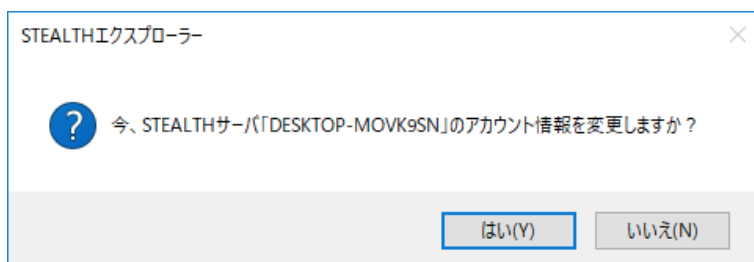
次のようにSTEALTHサーバとの連結を解除することを確認するダイアログが表示されます。“はい(Y)”ボタンをクリックします。



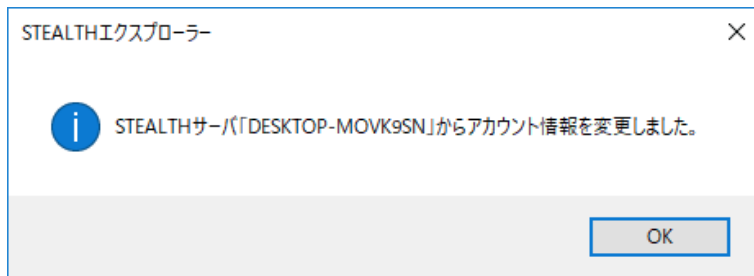
アカウント変更

先に連結したサーバを選択した後“アカウント変更”ボタンをクリックしたら次のように現在連結されているSTEALTHサーバのアカウントの情報を変更できるダイアログが表示されます。

E-Mail、電話番号を自由に変更できて“パスワード変更”を選択したら現在使用しているパスワードも新規のパスワードに変更できます。パスワードを変更しない場合も他の情報を変更するためには現在パスワードは提供する必要があります。変更する情報を全て入力した後“変更”ボタンをクリックします。次のようにアカウント変更を確認するダイアログが表示されます。



アカウント変更作業が正常的に終わったら次のようなダイアログが表示されます。



“OK”ボタンをクリックしてアカウント変更作業を完了します。

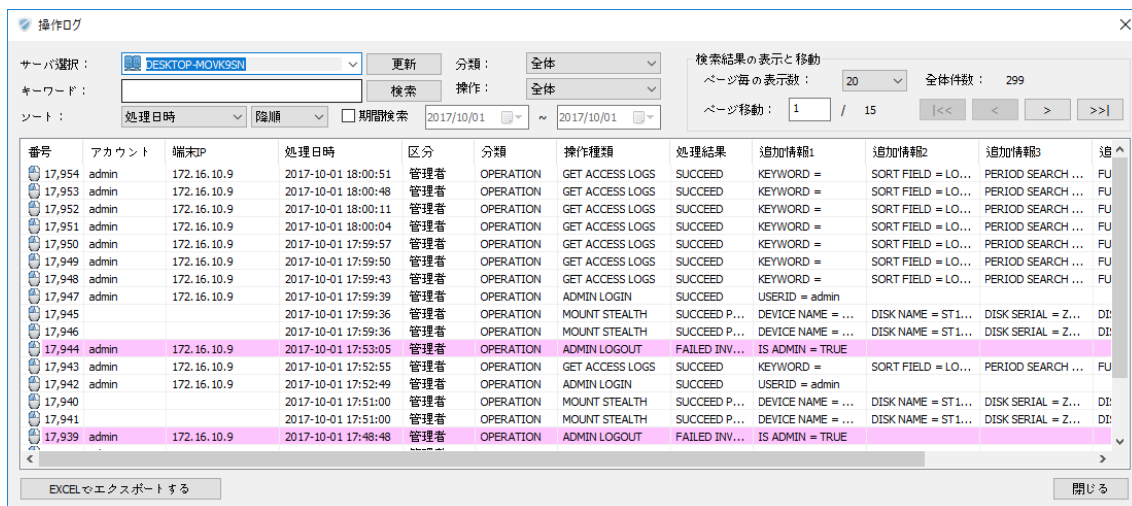
注意事項: STEALTHサーバのアカウントに対しては別途のパスワード複雑性ルールがありません。パスワードを変更する際にはこれを参考して十分な複雑性をもっているパスワードを指定してください。

操作ログ

CIDISK™ PROを利用してSTEALTHサーバ上の操作ログを管理できます。

注意事項: この機能はSTEALTHサーバにログインした全てのアカウントで利用できます。一般ユーザーの場合は自分のアカウントで行った操作に対するログのみ照会することができますのでご参考ください。

リボンメニューの中で“操作ログ”ボタンをクリックしたら次のような“操作ログ”ダイアログが表示されます。“操作ログ”ダイアログでは自分のアカウントで連結している全てのサーバ上の操作ログを照会又はEXCELでエクスポートすることができます。



■ サーバ選択

現在自分のアカウントで連結しているサーバの中で操作ログを照会する対象サーバを選択します。対象サーバを選択したら最も最新のログが20レコード単位で表示されます。

検索

検索のためのキーワードを入力した後そのキーワードに一致する結果のみを表示することができます。基本的には入力したキーワードを基にして端末IP、アカウント、操作種類及び処理結果に対するLIKE検索を行ってその結果が表示されます。

■ ソート

指定した検索条件を基にして処理日時又は端末IPに対して昇順又は降順ソート条件を指定して検索することができます。基本的なソート条件は処理日時に対する降順ソートです。

■ 期間検索

処理日時に対する開始日時と終了日時を指定して期間検索することができます。

■ 分類

操作ログの分類を“全体”、“一般操作”、“ファイル操作”の中で選択して検索することができます。

■ 操作

操作ログの操作種類を次の表に記載されている詳細な項目を指定して検索することができます。

操作種類	説明	その他
一般操作		
ADMIN LOGIN	管理者のログイン	管理者権限のみ
USER LOGIN	ユーザーのログイン	
ADMIN LOGOUT	管理者のログアウト	管理者権限のみ
USER LOGOUT	ユーザーのログアウト	
ADMIN LOGOUT BY SYSTEM	システムによる管理者のログアウト	管理者権限のみ
USER LOGOUT BY SYSTEM	システムによるユーザーのログアウト	
UPDATE ACCOUNT	ログインアカウント情報の変更	
GET DISK INFO	サーバのディスク情報の検索	
GET AREA INFO	サーバのSTEALTH領域情報の検索	
GET PARTITION INFO	サーバのパーティション情報の検索	
QUERY SHRINK MAX	サーバの特定パーティションの縮小できる空間の照会	管理者権限のみ
SHRINK PARTITION	サーバの特定パーティションの縮小	管理者権限のみ
CREATE PARTITION	サーバの専用パーティションの生成	管理者権限のみ
DELETE PARTITION	サーバの専用パーティションの削除	管理者権限のみ
GET SHARE LIST	共有リストの照会	管理者権限のみ
ADD SHARE	共有の追加	管理者権限のみ
MODIFY SHARE	共有の変更	管理者権限のみ
DELETE SHARE	共有の削除	管理者権限のみ
GET USER SHARE LIST	特定アカウントでアクセスできる共有リストの照会	
CONNECT SHARE	共有に連結	
DISCONNECT SHARE	共有との連結解除	
FORCE DISCONNECT SHARE	共有との連結強制的解除	管理者権限のみ
GET SHARE USER LIST	特定共有に割当されているアカウントリストの照会	管理者権限のみ
ADD SHARE USER	特定共有にアカウントの割当	管理者権限のみ
MODIFY SHARE USER	特定共有に割当されているアカウントの権限変更	管理者権限のみ
DELETE SHARE USER	特定共有に割当されているアカウントの削除	管理者権限のみ
GET ACL LIST	アクセス制御政策リストの照会	管理者権限のみ
ADD ACL	アクセス制御政策の追加	管理者権限のみ
MODIFY ACL	アクセス制御政策の変更	管理者権限のみ
DELETE ACL	アクセス制御政策の削除	管理者権限のみ
GET USER LIST	アカウントリストの照会	管理者権限のみ
CHECK ID DUPLICATE	アカウントIDの中腹確認	管理者権限のみ

ADD USER	アカウントの追加	管理者権限のみ
MODIFY USER	アカウントの変更	管理者権限のみ
DELETE USER	アカウントの削除	管理者権限のみ
CHECK PASSWORD	STEALTHパスワードの確認	管理者権限のみ
CREATE STEALTH	STEALTH領域の生成	管理者権限のみ
RENAME STEALTH	STEALTH領域名前の変更	管理者権限のみ
REMOVE STEALTH	STEALTH領域の削除	管理者権限のみ
FORMAT STEALTH	STEALTH領域のフォーマット	管理者権限のみ
MOUNT STEALTH	STEALTH領域の連結	管理者権限のみ
UNMOUNT STEALTH	STEALTH領域との連結解除	管理者権限のみ
STEALTH PROPERTY	STEALTH領域属性の照会	管理者権限のみ
CHANGE PASSWORD	STEALTH領域パスワードの変更	管理者権限のみ
GET ACCESS LOG	アクセスログの照会	管理者権限のみ
GET OPERATION LOGS	操作ログの照会	管理者権限のみ
GET SYSTEM SETTINGS	システム設定の照会	管理者権限のみ
SET SYSTEM SETTINGS	システム設定の変更	管理者権限のみ
GET AUTO CONNECT FLAG	STEALTH領域の自動連結可否の照会	管理者権限のみ
GET LOG SETTINGS	ログ設定の照会	管理者権限のみ
SET LOG SETTINGS	ログ設定の変更	管理者権限のみ
파일조작		
FS GET AUTOLOCK	自動ロック設定の照会	
FS SET AUTOLOCK	自動ロック設定の変更	
FS GET FAVORITES	ブックマークの照会	
FS SAVE FAVORITES	フォーマットの保存	
FS OPEN FILE	ファイルの開く	
FS OPEN DIR	フォルダーの開く	
FS WRITE	ファイルの書く	
FS READ	ファイルの読む	
FS RENAME	名前の変更	
FS UTIME	ファイル及びフォルダーの属性の変更	
FS READ DIR	フォルダーの下位項目の照会(個別)	
FS ENUM DIR	フォルダーの下位項目の照会(一括)	
FS UNLINK	項目の削除	
FS MKDIR	フォルダーの生成	
FS CLOSE	ファイルの閉じる	
FS CLOSE DIR	フォルダーの閉じる	
FS STAT	ファイル及びフォルダーの属性の照会	
FS GET SPACE	STEALTH領域の容量の照会	

■ ページ毎の表示数

指定した検索条件を基にして一つのページ毎に表示するレコード数を指定することができます。基本レコード数は20であり、最大100レコードまで指定することができます。

■ 全体件数

指定した検索条件に一致する全体レコード数を表示します。

■ ページ移動

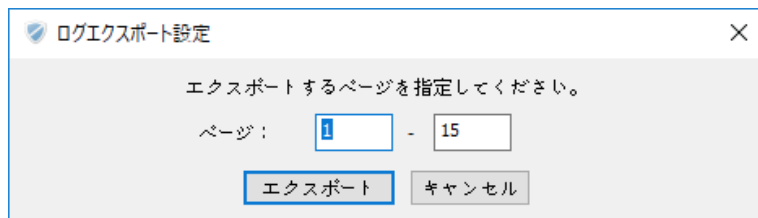
指定したページ毎の表示するレコード数を基にするページ数を表示して入力したページに直接移動して該当ページの検索結果を表示します。

■ 移動ボタン

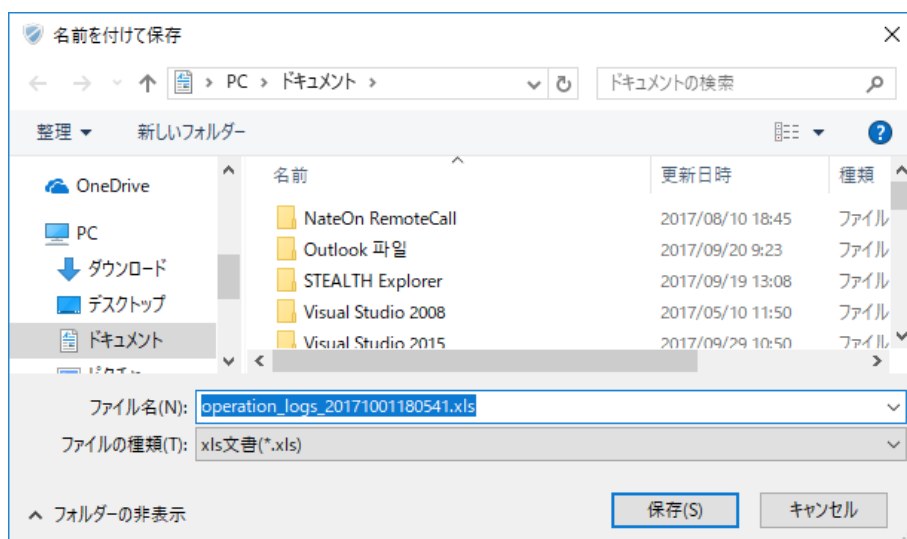
ページ移動を“|<<”, “<”, “>”, “>>|”ボタンを利用して移動することができます。

EXCELでエクスポートする

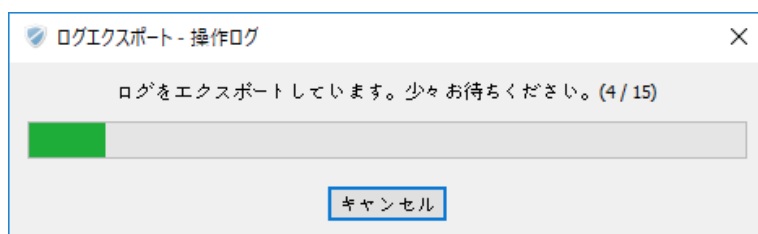
指定した検索条件に一致する全ての検索結果を指定したEXCEL文書で直接エクスポートすることができます。エクスポートするためにはまず検索を行ってから“EXCELでエクスポートする”ボタンをクリックします。次のようにエクスポートするページを指定できるダイアログが表示されます。



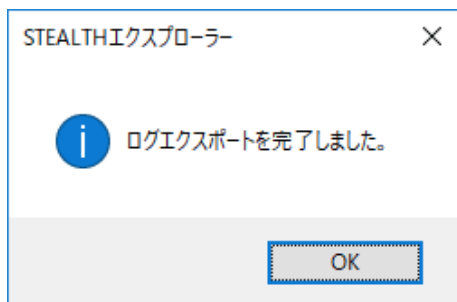
基本的には最初ページから最後ページまでがエクスポートする対象に指定されています。必要な場合ページ番号を変更してから“エクスポート”ボタンをクリックします。次のようにエクスポートするEXCEL文書のパスを指定するダイアログが表示されます。エクスポートするEXCEL文書は基本的に“operation_logs_YYYYmmddHHMMSS.xls”形式のように保存されます。必要な場合文書の名前を変更してから“保存(S)”ボタンをクリックします。



次のようにエクスポート作業の進行状態を表示するダイアログが表示され進行状態がアップデートされます。エクスポート作業が完了されるまで少々お待ちください。エクスポート作業をキャンセルするためには“キャンセル”ボタンをクリックします。



エクスポート作業が正常的に終わったら次のようにその内容を確認するダイアログが表示されます。



“OK”ボタンをクリックしてエクスポート作業を完了します。

注意事項: ログのエクスポートする過程でキャンセルした場合は該当エクスポート作業のログファイルが削除されますのでエクスポートするページを正確に指定した後エクスポート作業を進行するようにしてください。

お問い合わせ

CIDISK™ PROを使用する過程でなにか問題とか質問することが発生したら、次の連絡先にお問い合わせください。

- メール: cidisk@cidisk.com
- 電話: +82-70-7553-2646